
三川町
子ども・子育て支援に関するアンケート
概要報告書

令和6年12月
三 川 町

目 次

I 調査の概要	2
1. 調査の目的	2
2. 実施概要	2
3. 回収結果	2
4. 報告書を見る際の留意点	2
II 調査結果	3
1. お子さんご家族の状況について	3
2. お子さんの父親・母親の就労状況について	9
3. お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	12
4. お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	19
5. お子さんの病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）	19
6. お子さんの「不定期」の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について	23
7. 小学校就学後の放課後の過ごし方について	29
8. 育児休業や短時間勤務制度などの職場と子育ての両立支援制度について	35
9. お子さんの地域の子育て支援関連事業について	35
10. 子どもの育ちをめぐる環境などについて	38
11. これからの子ども・子育て支援全般について	47

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、令和7年度から始まる「第3期三川町子ども・子育て支援事業計画」を策定するにあたっての基礎資料を得るため、子育てをしている町民の子ども・子育てに関する生活実態、教育・保育事業の利用状況や利用意向、その他子育て施策全般に係るご意見、ご要望を把握することを目的として実施しました。

2. 実施概要

	就学前児童調査	就学児童調査
(1) 調査対象者	町内在住の就学前の児童の保護者	町内在住の小学校3年生までの児童の保護者
(2) 調査対象者 児童数	306 件	221 件
(3) 調査方法	・施設を通した配布 ・郵送による配布 ・インターネット回答	・学校を通した配布 ・インターネット回答 ※紙の調査票での回答2件有り
(4) 調査期間	令和6年10月28日～11月19日	

※対象となる児童が複数の家庭には、下の年齢の児童の分として回答を依頼。

3. 回収結果

調査名	発送数	回収数	回収率
就学前児童調査	306	126	41.2%
就学児童調査	221	113	51.1%

4. 報告書を見る際の留意点

- 調査結果の%表記については、小数第1位を四捨五入した値であるため、単数回答でも見ための合計が必ずしも100%になるとは限りません。
- 複数回答の質問は、回答数を100%として各選択肢の%を算出しているため、合計が100%を超えることがあります。
- 図表中ではスペースの都合で選択肢名などを一部省略している場合があります。

Ⅱ 調査結果

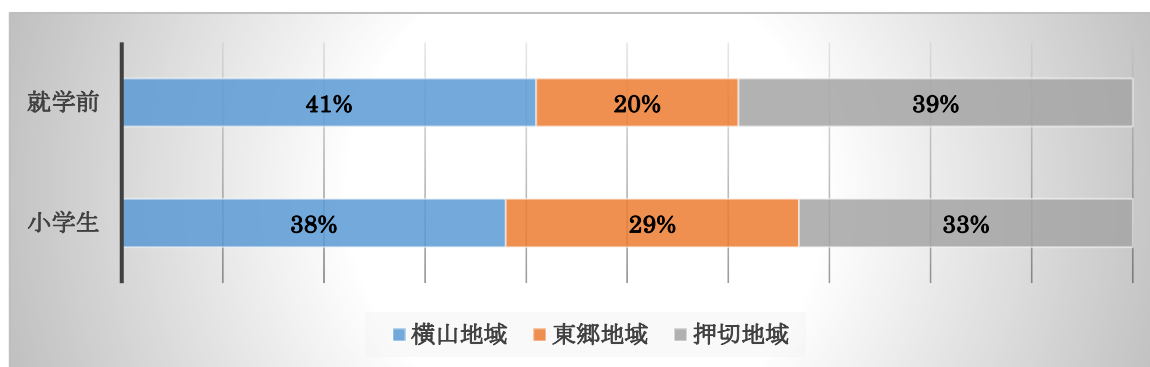
1. お子さんご家族の状況について

1-1 宛名のお子さんがお住まいの地域

【就学前調査:問1 小学生調査:問1】

○就学前では、「横山地域」が41%で最も高く、次いで「押切地域」が39%、「東郷地域」が20%となっています。

○小学生でも、「横山地域」が38%で最も高く、次いで「押切地域」が33%、「東郷地域」が29%となっています。



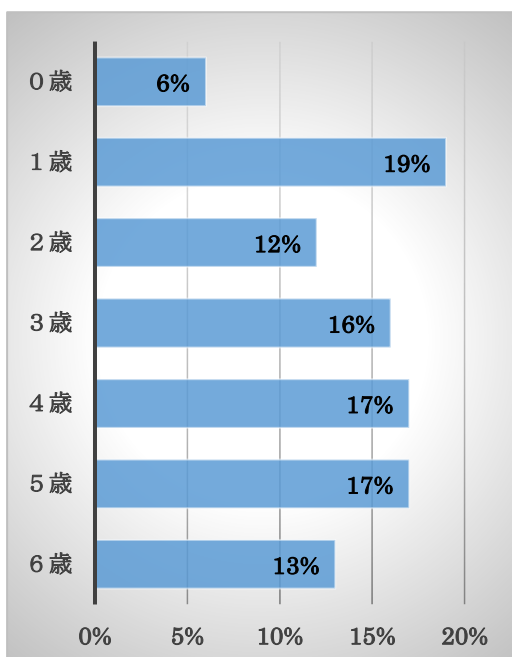
1-2 宛名のお子さんの年齢

【就学前調査:問2 小学生調査:問2】

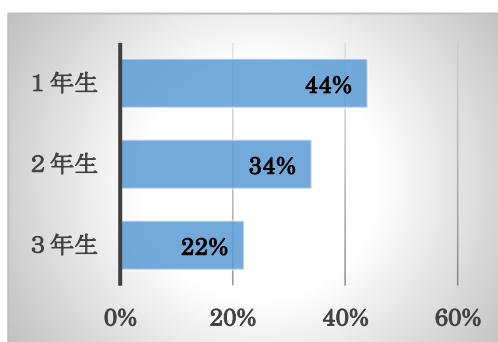
○就学前では、「1歳」が19%で最も高く、次いで「4歳」と「5歳」が17%、「3歳」が16%となっています。

○小学生では、「1年生」が44%で最も高く、次いで「2年生」が34%、「3年生」が22%となっています。

【就学前】



【小学生】

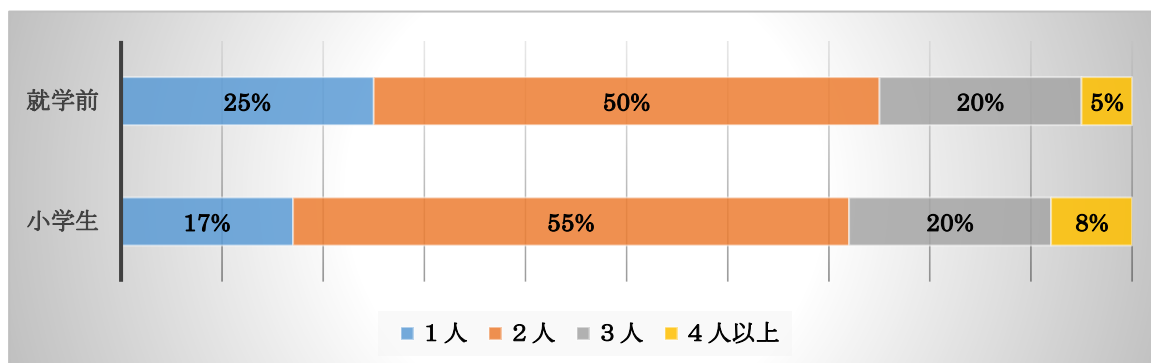


1-3 子どもの人数

【就学前調査:問3 小学生調査:問3】

○就学前では、「2人」が50%で最も高く、次いで「1人」が25%、「3人」が20%となっています。

○小学生では、「2人」が55%で最も高く、次いで「3人」が20%、「1人」が17%となっています。

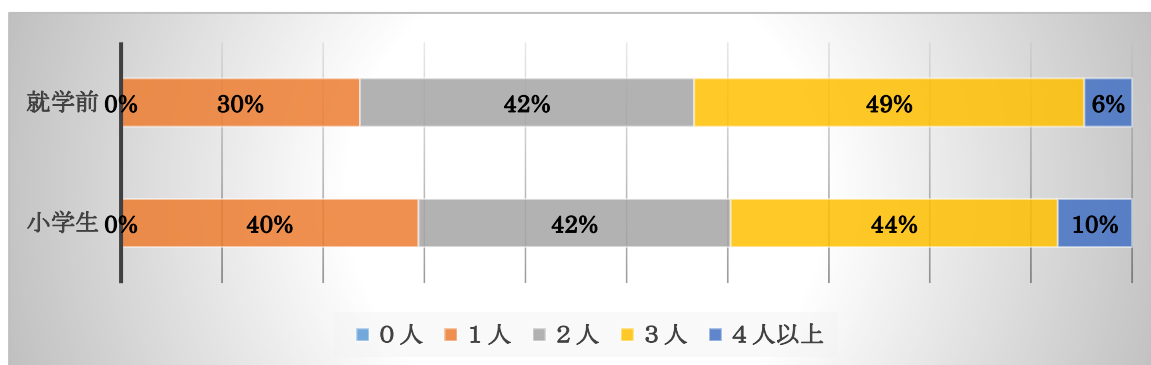


1-4 理想の子どもの人数

【就学前調査:問4 小学生調査:問4】

○就学前では、「3人」が49%で最も高く、次いで「2人」が42%、「4人以上」が6%となっています。

○小学生では、「3人」が44%で最も高く、次いで「2人」が42%、「4人以上」が10%となっています。

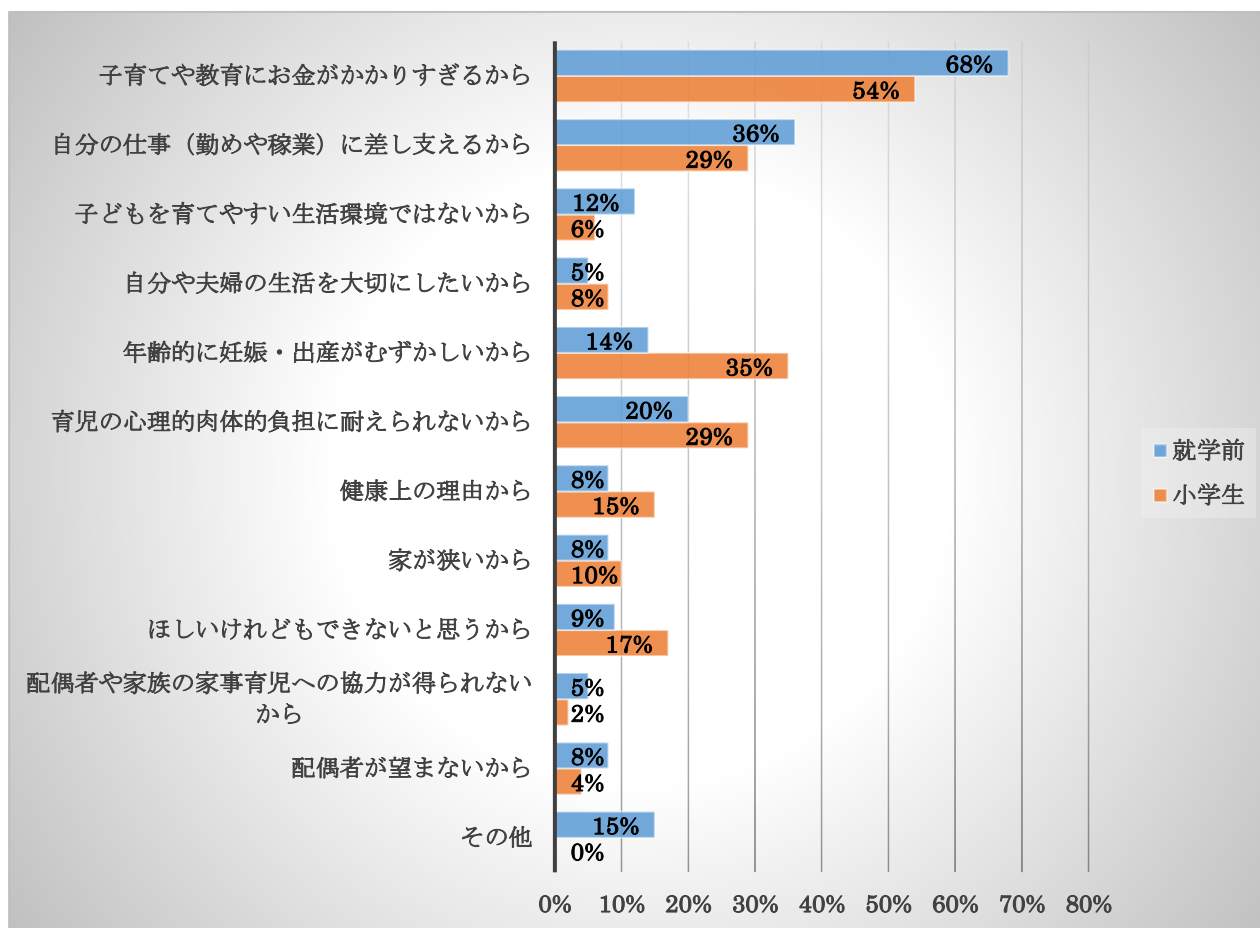


1-5 実際の子どもの人数が理想より少ない理由

【就学前調査:問5 小学生調査:問5】

○就学前では、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が68%で最も高く、次いで「自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから」が36%、「育児の心理的肉体的負担に耐えられないから」が20%となっています。

○小学生では、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が54%で最も高く、次いで「年齢的に妊娠・出産がむずかしいから」が35%、「自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから」と、「育児の心理的肉体的負担に耐えられないから」がそれぞれ29%となっています。

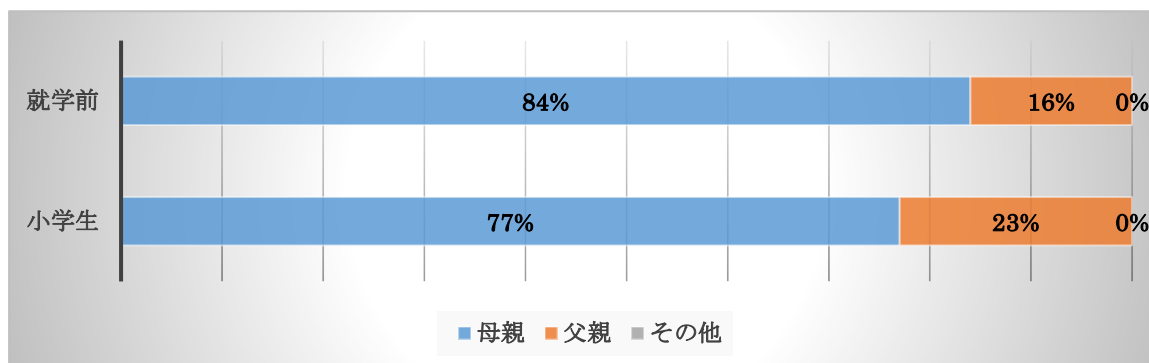


1-6 調査票の回答者

【就学前調査:問6 小学生調査:問6】

○就学前では、「母親」が84%で、「父親」の16%を大きく上回っています。

○小学生でも、「母親」が77%で、「父親」の23%を大きく上回っています。

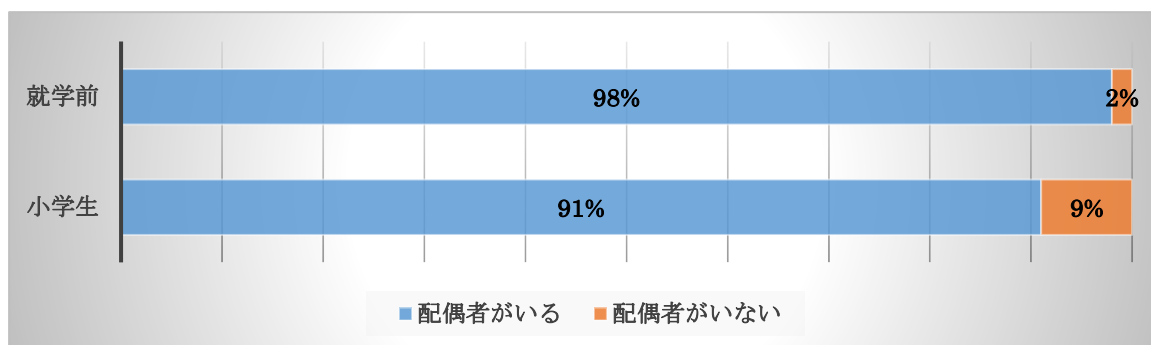


1-7 回答者の配偶関係

【就学前調査:問7 小学生調査:問7】

○就学前では、「配偶者がいる」が98%で、「配偶者はいない」は2%となっています。

○小学生でも、「配偶者がいる」が91%で、「配偶者はいない」は9%となっています。

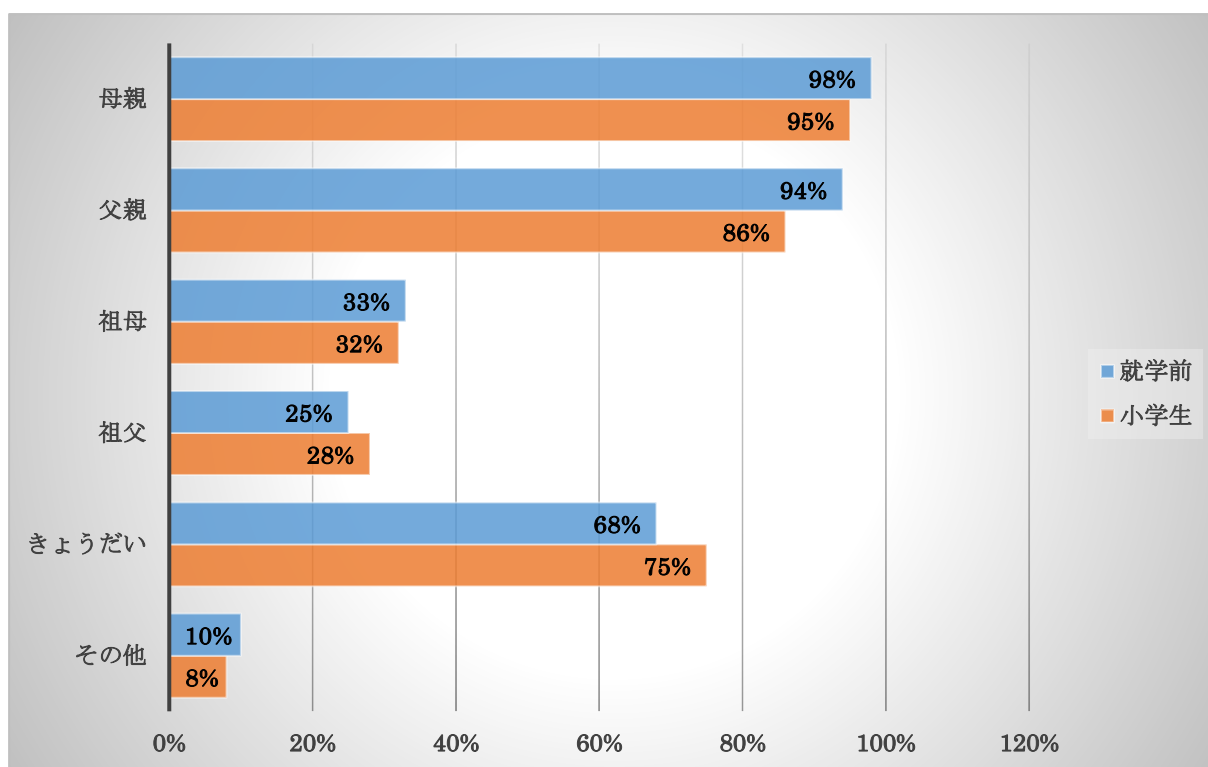


1-8 宛名のお子さんの同居の家族

【就学前調査:問8 小学生調査:問8】

○就学前では、「母親」が98%で最も高く、次いで「父親」が94%、「きょうだい」が68%となっています。

○小学生でも、「母親」が95%で最も高く、次いで「父親」が86%、「きょうだい」が75%となっています。

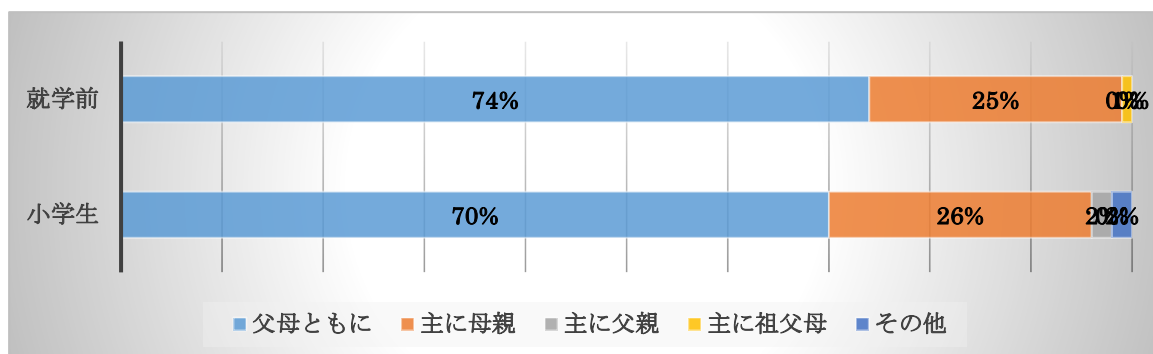


1-9 主にお子さんの子育てをしている人

【就学前調査:問9 小学生調査:問9】

○就学前では、「父母ともに」が74%で最も高く、次いで「主に母親」が25%となっています。

○小学生でも、「父母ともに」が70%で最も高く、次いで「主に母親」が26%となっています。



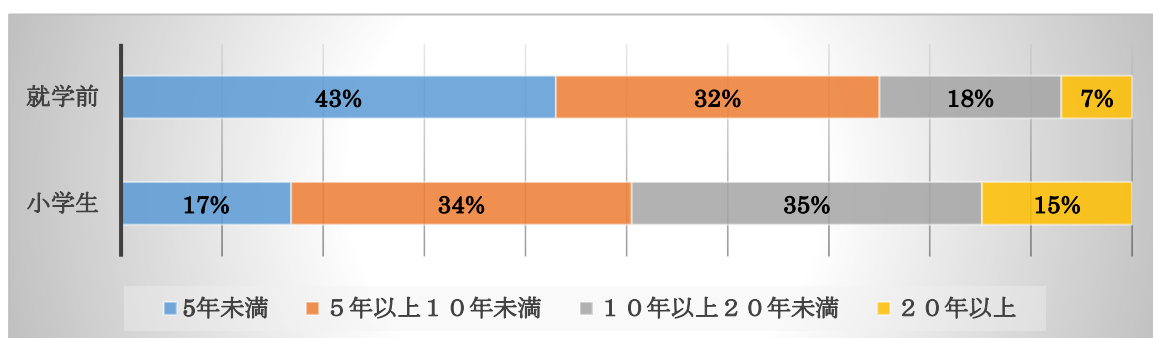
1-10 現在の住まいについて

【就学前調査:問10 小学生調査:問10】

①居住年数

○就学前では、「5年未満」が43%で最も高く、次いで「5年以上10年未満」が32%、「10年以上20年未満」が18%となっています。

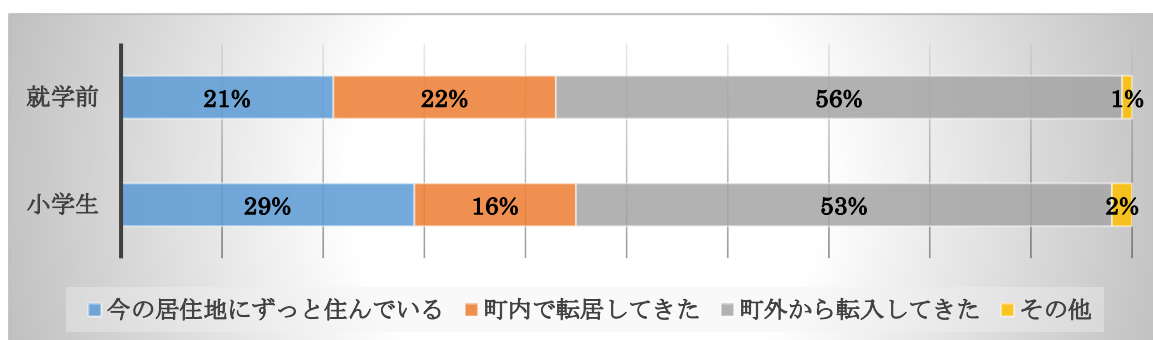
○小学生では、「10年以上20年未満」が35%で最も高く、次いで「5年以上10年未満」が34%、「5年未満」が17%となっています。



②転居

○就学前では、「町外から転入してきた」が56%で最も高く、次いで「町内で転居してきた」が22%、「今の住居にずっと住んでいる」が21%となっています。

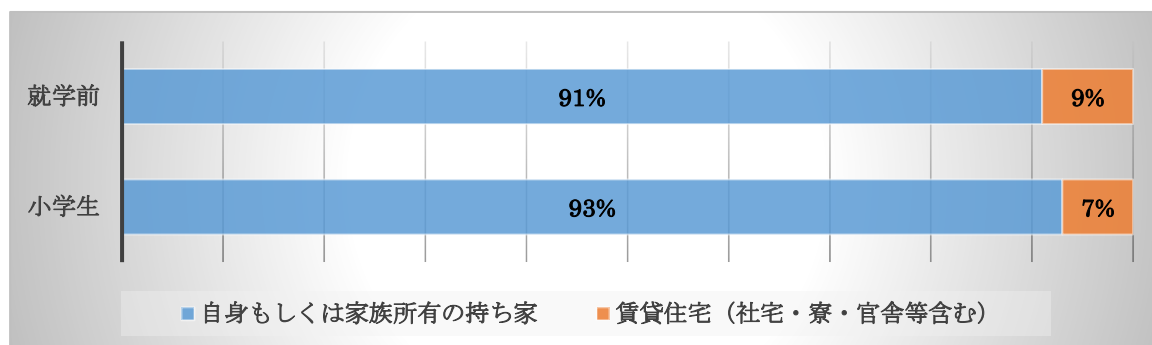
○小学生でも、「町外から転入してきた」が53%で最も高く、次いで「今の住居にずっと住んでいる」が29%、「町内で転居してきた」が16%となっています。



③住居の形態

○就学前では、「自身もしくは家族所有の持ち家」が 91%で最も高く、次いで「賃貸住宅(社宅・寮・官舎等含む)」が 9%となっています。

○小学生でも、「自身もしくは家族所有の持ち家」が 93%で最も高く、次いで「賃貸住宅(社宅・寮・官舎等含む)」が 7%となっています。



2. お子さんの父親・母親の就労状況について

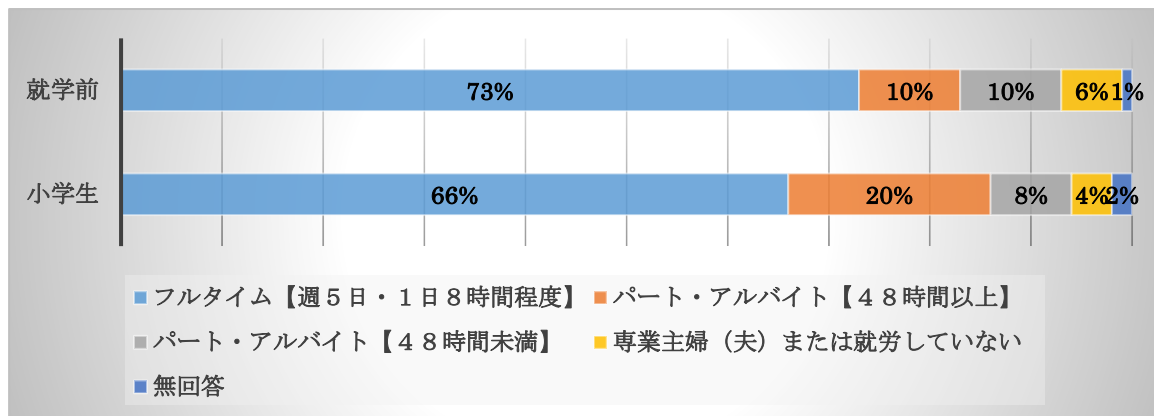
2-1 現在の就労状況と今後の就労希望

【就学前調査:問 11 小学生調査:問 11】

①現在の就労状況（母親）

○就学前では、「フルタイム【週 5 日・1 日 8 時間程度】」が 73%で最も高く、次いで「パート・アルバイト【月 48 時間以上】」と、「パート・アルバイト【月 48 時間未満】」がそれぞれ 10%となっています。

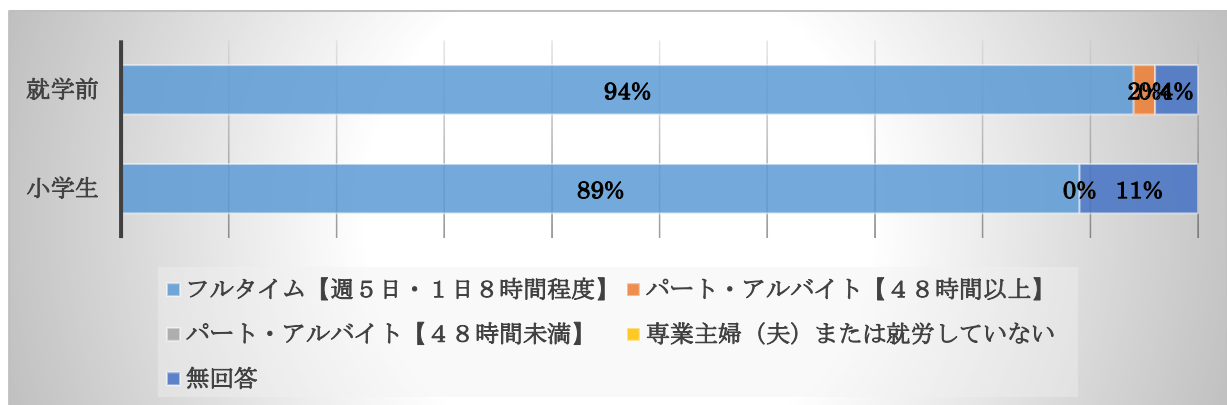
○小学生では、「フルタイム【週 5 日・1 日 8 時間程度】」が 66%で最も高く、次いで「パート・アルバイト【月 48 時間以上】」が 20%、「パート・アルバイト【月 48 時間未満】」が 8%となっています。



②現在の就労状況（父親）

○就学前では、「フルタイム【週 5 日・1 日 8 時間程度】」が 94%で最も高く、次いで「未回答」が 4%となっています。

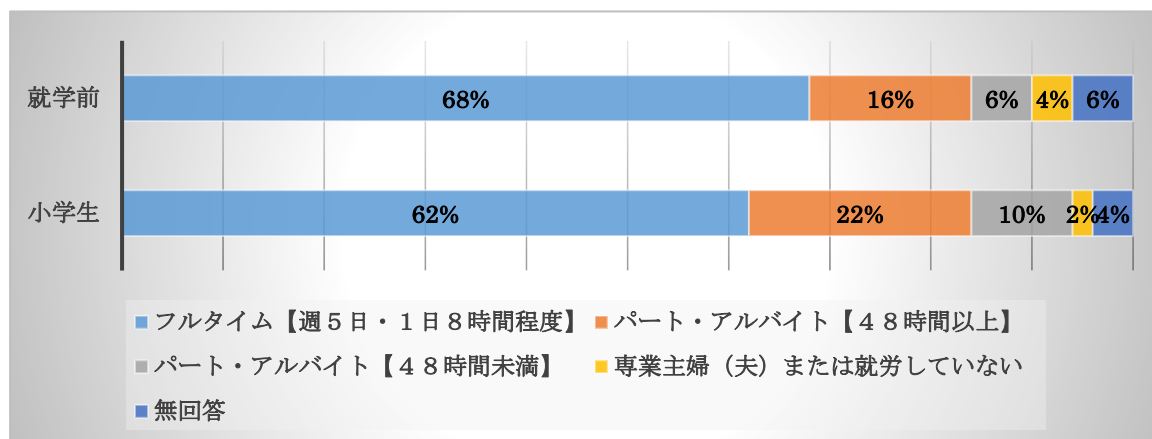
○小学生では、「フルタイム【週 5 日・1 日 8 時間程度】」が 89%で最も高く、次いで「未回答」が 11%となっています。



③今後１年以内の希望の就労形態（母親）

○就学前では、「フルタイム」が68%で最も高く、次いで「パート・アルバイト【月 48 時間以上】」が16%、「パート・アルバイト【月 48 時間未満】」が6%となっています。

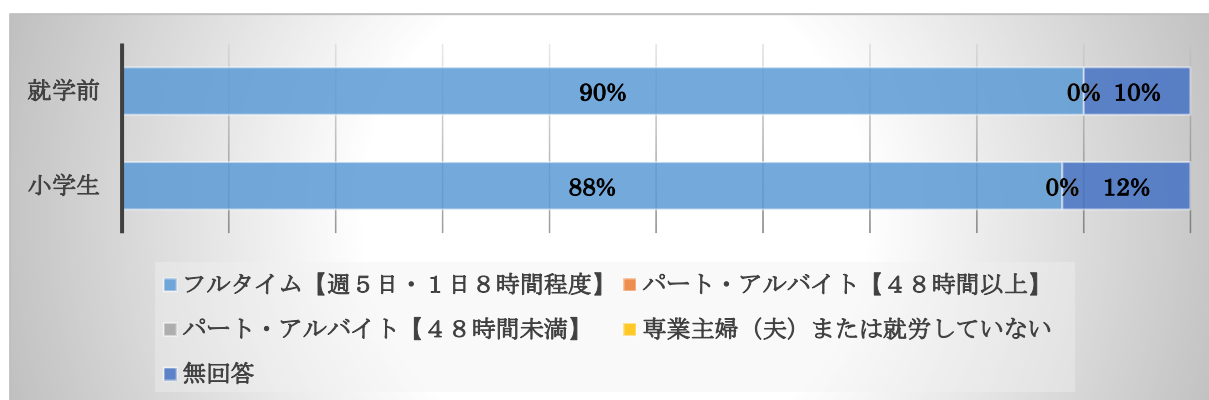
○小学生でも、「フルタイム」が62%で最も高く、次いで「パート・アルバイト【月 48 時間以上】」が22%、「パート・アルバイト【月 48 時間未満】」が10%となっています。



④今後１年以内の希望の就労形態（父親）

○就学前では、「フルタイム」が90%で最も高く、次いで「未回答」が10%を占めています。

○小学生でも、「フルタイム」が88%で最も高く、次いで「未回答」が12%を占めています。



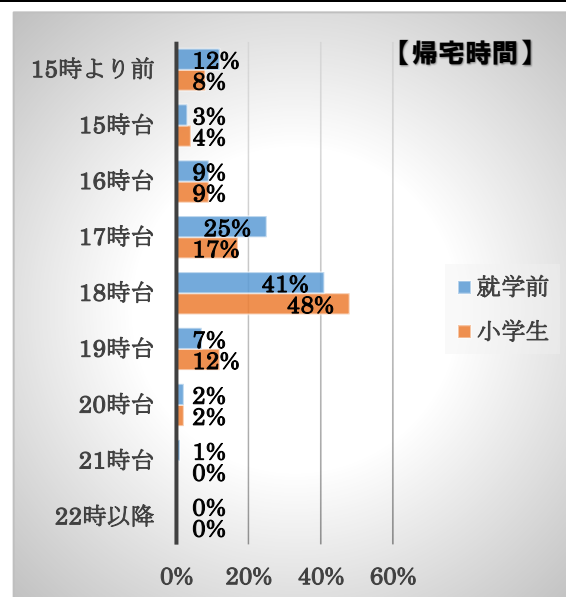
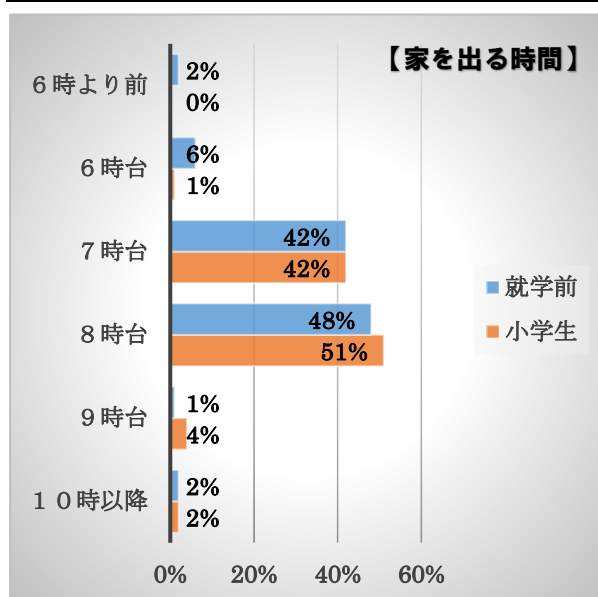
2-2 家を出る時間・帰宅時間

【就学前調査:問 12 小学生調査:問 12】

①母親

○就学前では、家を出る時間は「8 時台」が 48%で最も高く、次いで「7 時台」が 42%、「6 時台」が 6%となっています。また、帰宅時間は「18 時台」が 41%で最も高く、次いで「17 時台」が 25%、「15 時より前」が 12%となっています。

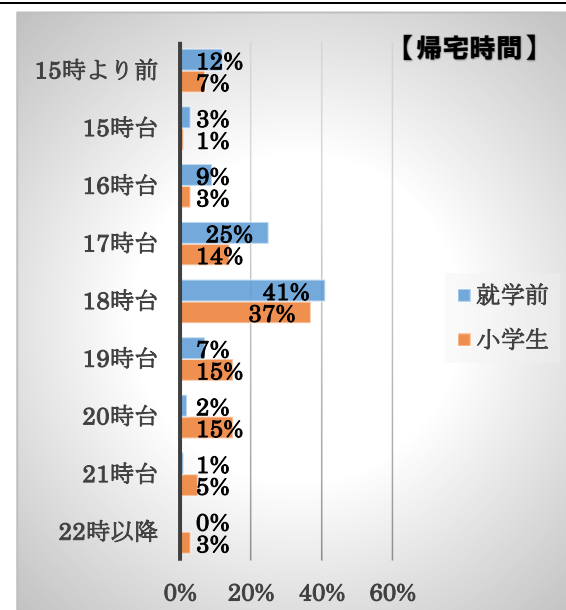
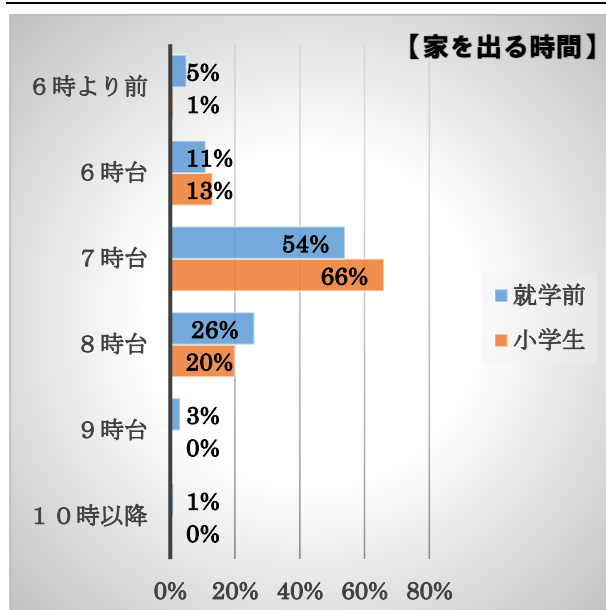
○小学生では、家を出る時間は「8 時台」が 51%で最も高く、次いで「7 時台」が 42%、「9 時以降」が 4%となっています。また、帰宅時間は「18 時台」が 48%で最も高く、次いで「17 時台」が 17%、「19 時台」が 12%となっています。



②父親

○就学前では、家を出る時間は「7 時台」が 54%で最も高く、次いで「8 時台」が 26%、「6 時台」が 11%となっています。また、帰宅時間は就学前では、「18 時台」が 41%で最も高く、次いで「17 時台」が 25%、「15 時より前」が 12%となっています。

○小学生では、家を出る時間は「7 時台」が 66%で最も高く、次いで「8 時台」が 20%、「6 時台」が 13%となっています。また、帰宅時間は「18 時台」が 37%で最も高く、次いで「19 時台」と「20 時台」がともに 15%となっています。

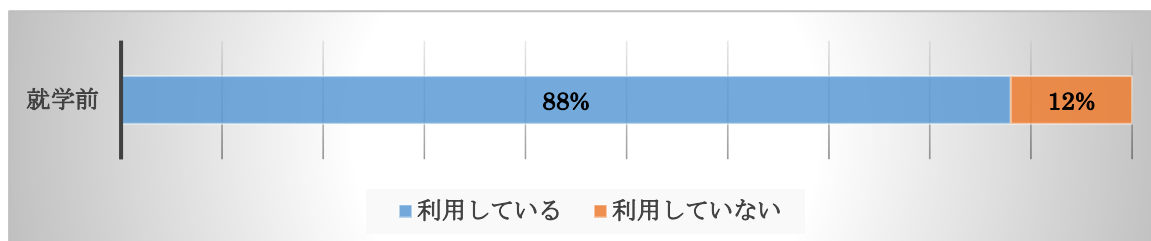


3. お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

3-1 お子さんは平日に定期的な教育・保育事業を利用しているか

【就学前調査: 問 14】

○就学前全体では、「利用している」が 88%で、「利用していない」の 12%を上回っています。

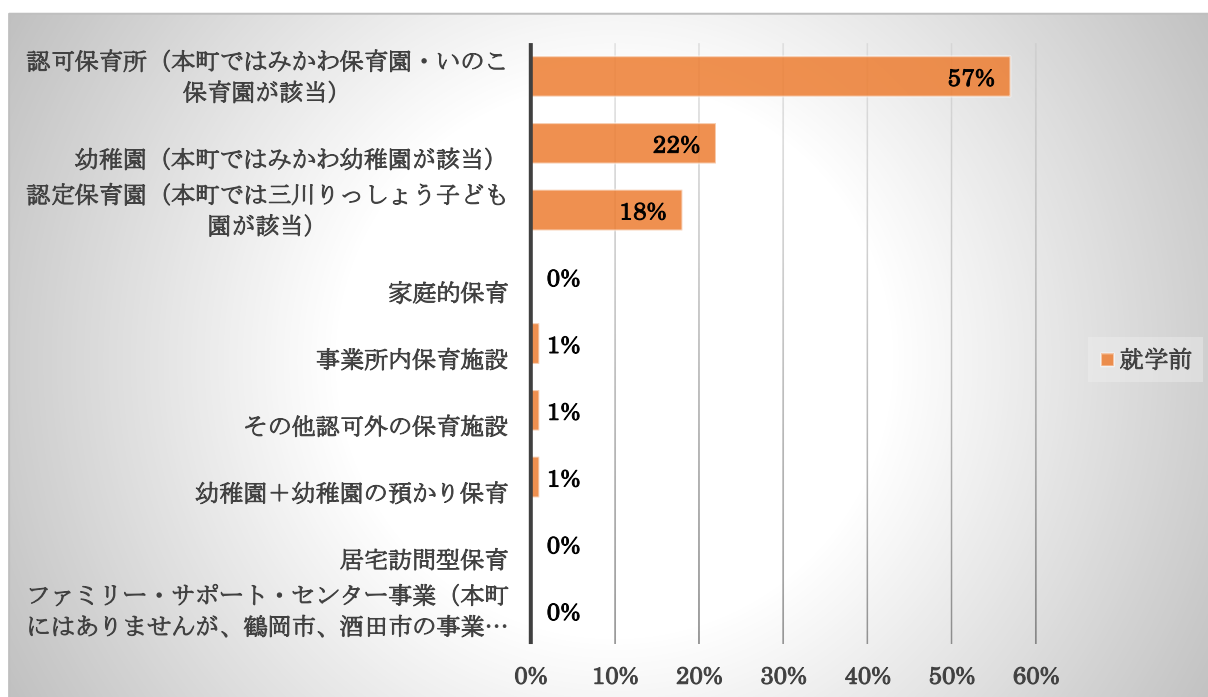


現在定期的な教育・保育事業を「利用している」と回答した人

3-2 お子さんが利用している教育・保育事業

【就学前調査: 問 15-1】

○就学前では、「認可保育所」が 57%で最も高く、次いで「幼稚園」が 22%となっています。

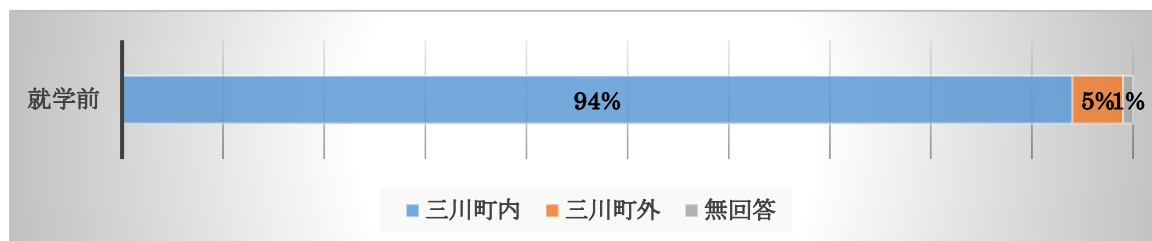


現在定期的な教育・保育事業を「利用している」と回答した人

3-3 お子さんが利用している教育・保育事業の利用状況 【就学前調査: 問 15-2】

①利用場所

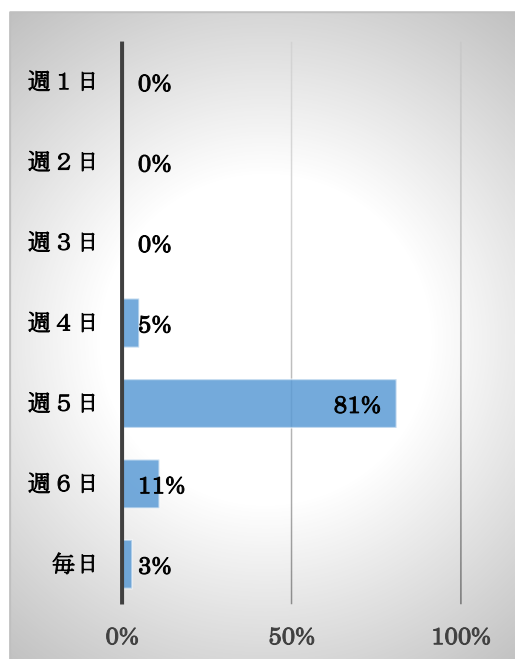
○「三川町内」が94%で、「三川町外」の5%を大きく上回っています。



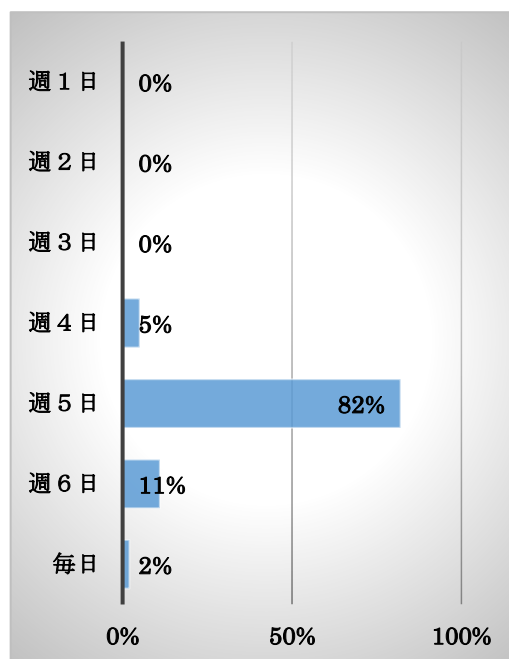
②1 週あたり利用日数

○1 週あたり利用日数をみると、実際では「5 日」が81%で最も高く、次いで「6 日」が11%となっています。
希望でも「5 日」が82%で最も高く、次いで「6 日」が11%となっています。

【現在の利用状況】



【希望する利用状況】

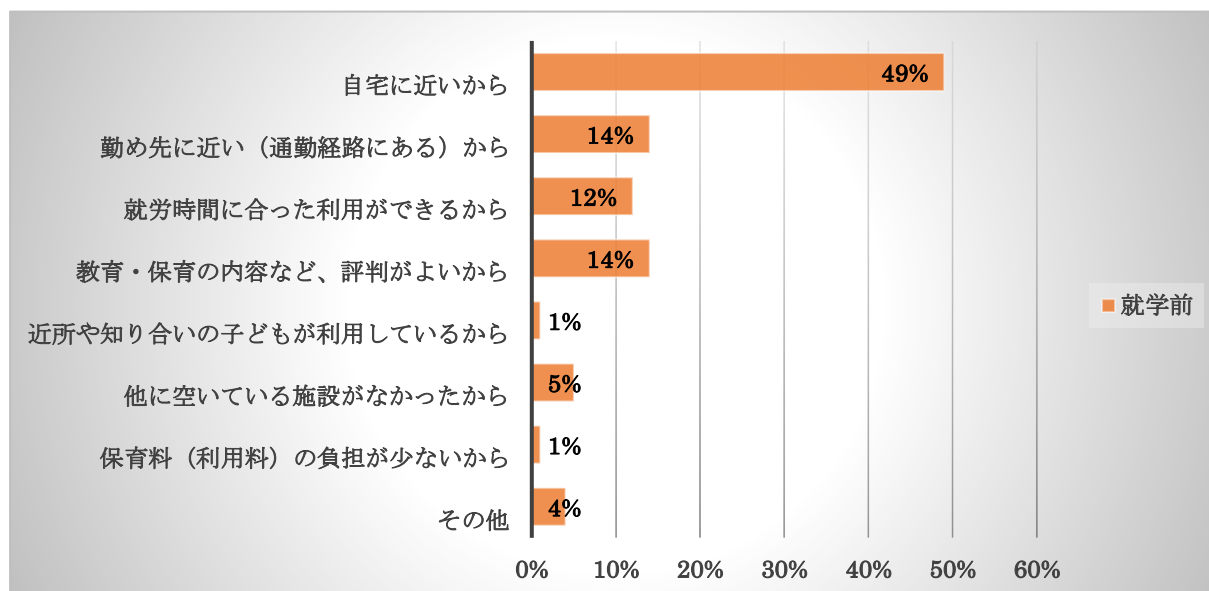


現在定期的な教育・保育事業を「利用している」と回答した人

3-4 現在利用している教育・保育施設や事業を選んだ理由

【就学前調査：問 15-3】

○「自宅に近いから」が 49%で最も高く、次いで「勤務先に近い(通勤経路にある)から」と、「教育・保育の内容など、評判がよいから」がそれぞれ 14%となっています。

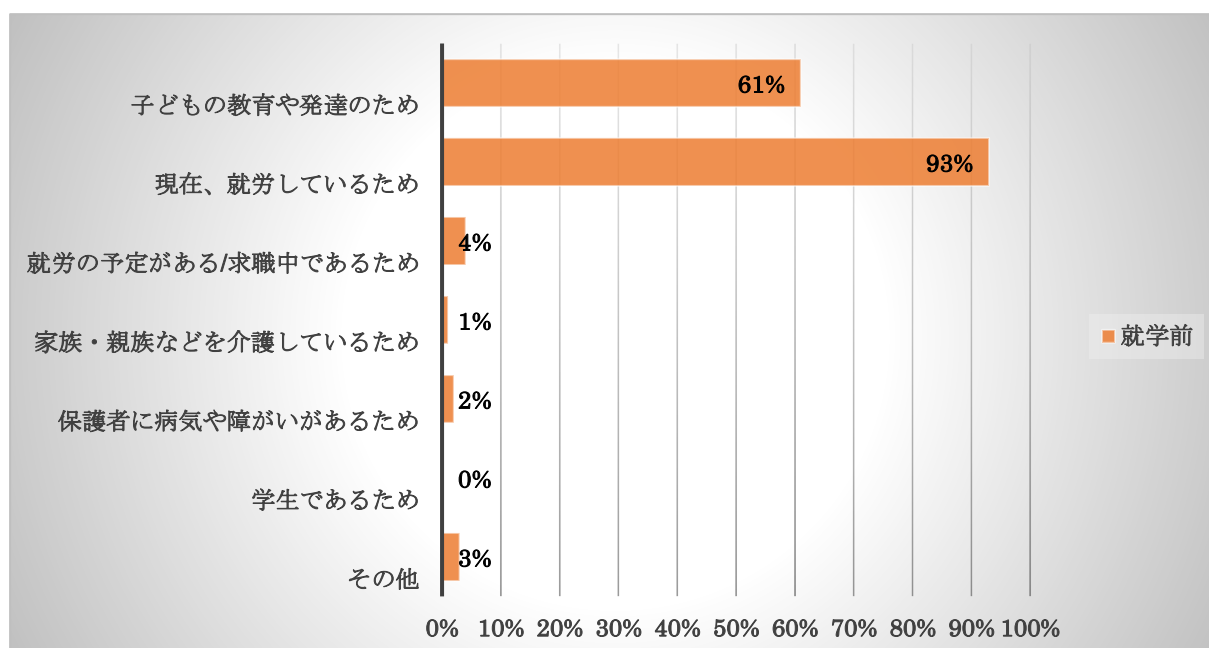


現在定期的な教育・保育事業を「利用している」と回答した人

3-5 定期的に教育・保育事業が必要な理由

【就学前調査：問 15-4】

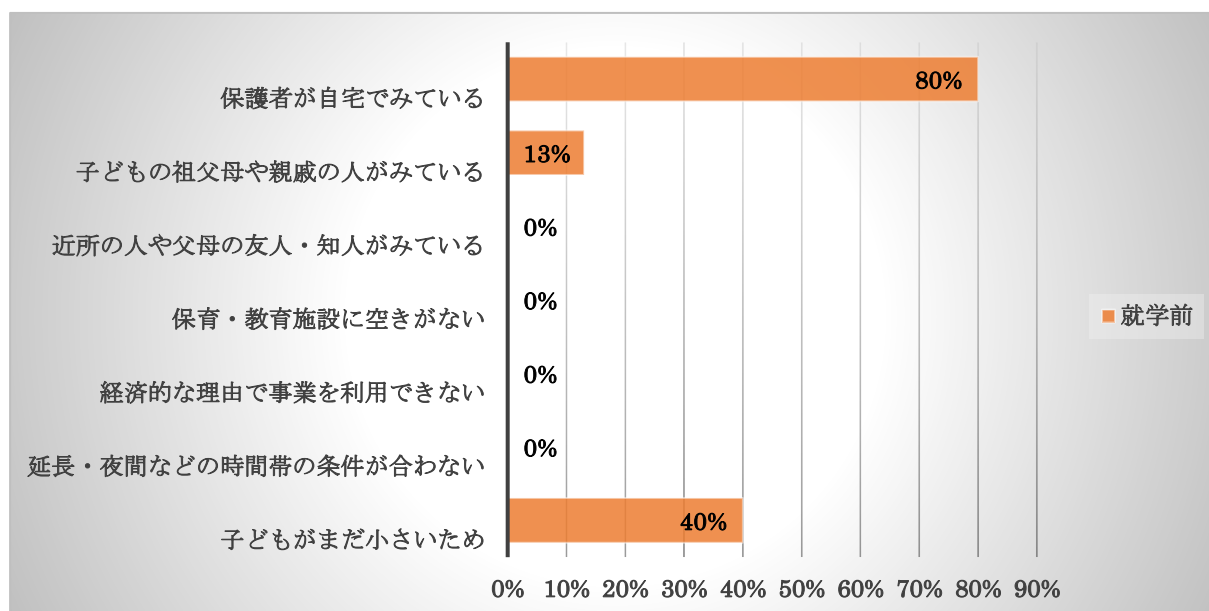
○「現在、就労しているため」が 93%で最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」が 61%、「就労の予定がある／求職中であるため」が 4%となっています。



3-6 定期的に教育・保育事業を利用していない理由

【就学前調査：問 16】

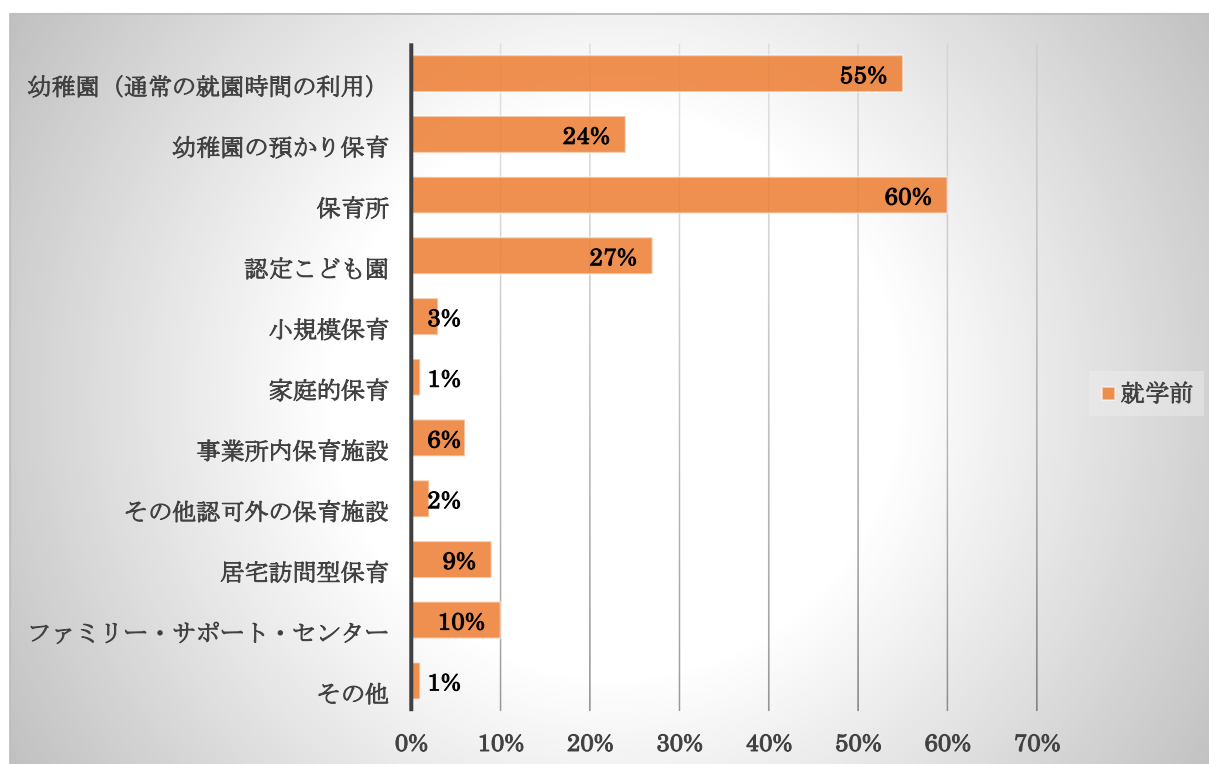
○定期的に教育・保育事業を利用していない理由をみると、「保護者が自宅でみている」が 80%で最も高く、次いで「子どもがまだ小さいため」が 40%、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」が 13%となっています。



3-7 定期的に利用したい平日の教育・保育事業

【就学前調査：問 17-1】

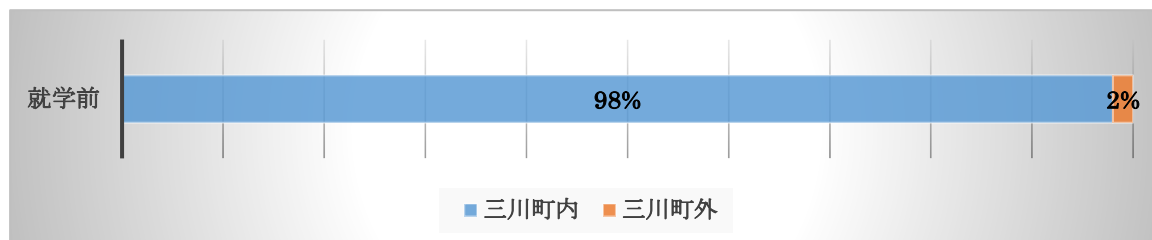
○「保育所」が 60%で最も高く、次いで「幼稚園(通常の就園時間の利用)」が 55%、「認定こども園」が 27%となっています。



3-8 教育・保育施設を利用したい場所

【就学前調査:問 17-2】

○「町内」が98%で、「町外」の2%を大きく上回っています。

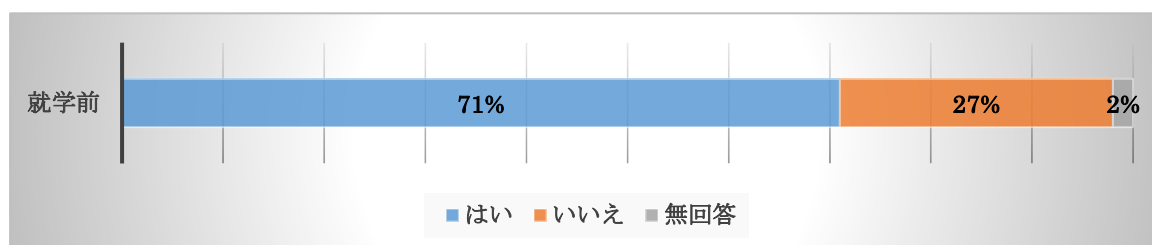


定期的に利用したい平日の教育・保育事業(3-7)で、問 17-1で「幼稚園」とそれ以外の事業の両方に回答した人

3-9 複数の事業を利用する際にも、特に幼稚園や幼稚園の預かり保育の利用を強く希望するか

【就学前調査:問 18】

○「はい」が71%で、「いいえ」の27%を上回っています。



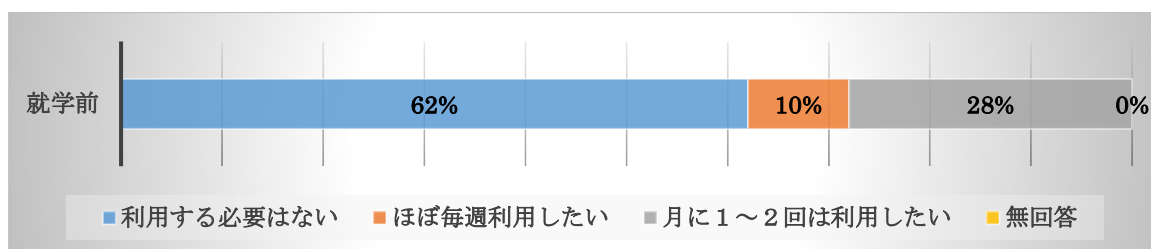
4. お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

4-1 土曜日、日曜日・祝日の教育・保育事業の利用希望

【就学前調査: 問 19】

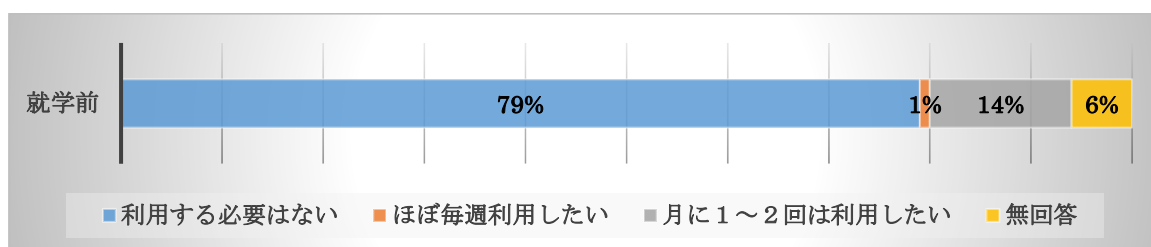
①土曜日の教育・保育事業

○利用希望をみると、「利用する必要はない」が 62%で最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」が 28%、「ほぼ毎週利用したい」が 10%となっています。



②日曜日・祝日の教育・保育事業

○利用希望をみると、「利用する必要はない」が 79%で最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」が 14%、「未回答」が 6%となっています。

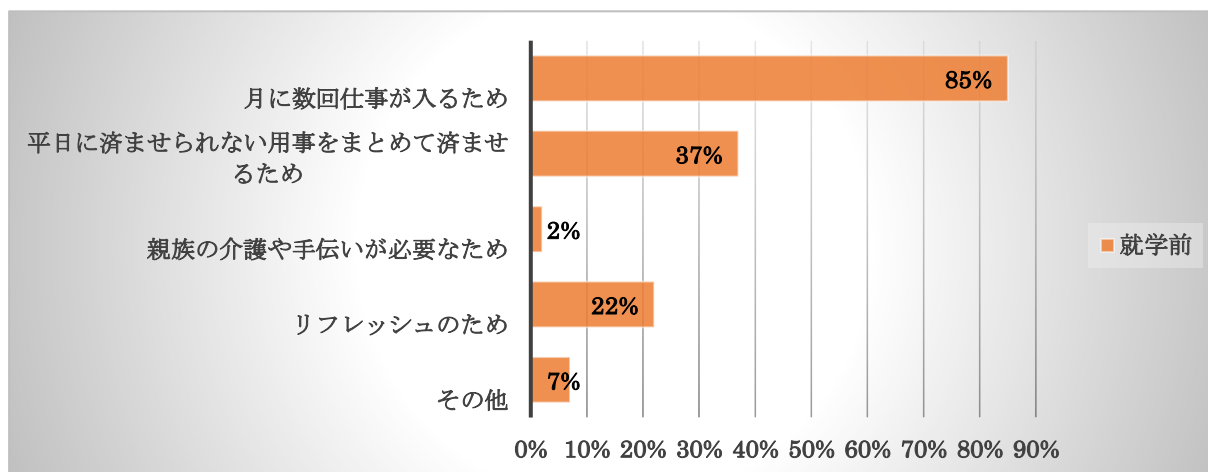


土曜日、日曜日・祝日の教育・保育事業の利用希望を「月に1～2回は利用したい」と回答した人

4-2 毎週ではなく、月に1～2回利用したい理由

【就学前調査: 問 20】

○「月に数回仕事が入るため」が 85%で最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が 37%、「リフレッシュのため」が 22%となっています。

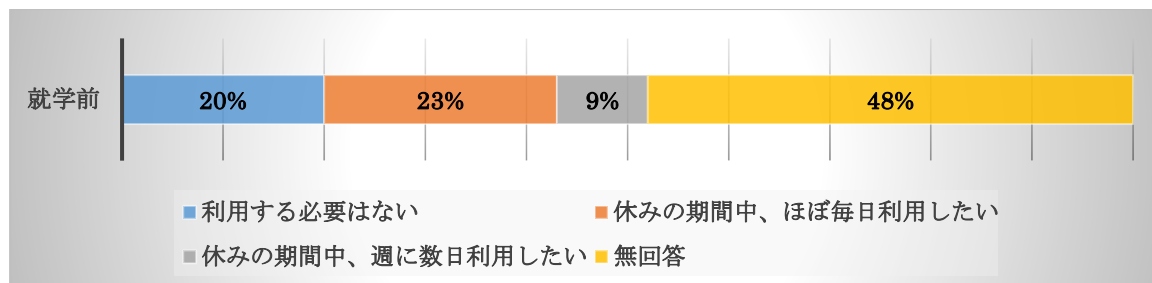


現在「幼稚園」を利用していると回答した人

4-3 幼稚園が夏休み・冬休みなど長期休園中の教育・保育事業の利用を希望するか

【就学前調査：問 21】

○利用希望をみると、「未回答」が 48%で最も高く、次いで「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が 23%、「利用する必要はない」が 20%となっています。

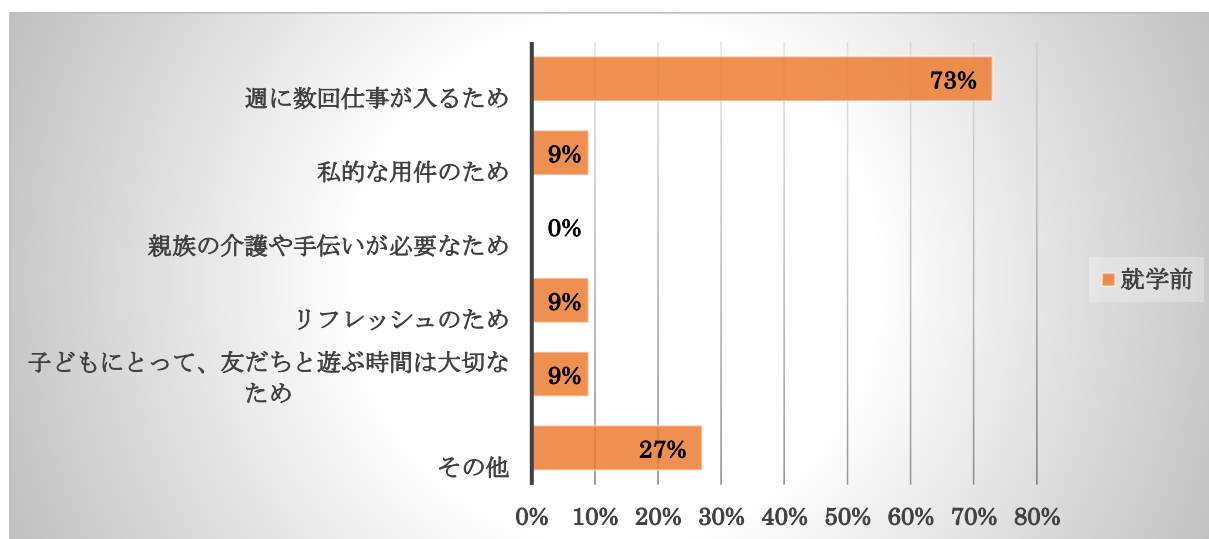


幼稚園が夏休み・冬休みなど長期休園中に「休みの期間中、週に数日利用したい」を利用していると回答した人

4-4 毎日ではなく、週に数日利用したい理由

【就学前調査：問 22】

○「週に数回仕事が入るため」が 73%で最も高く、次いで「その他」が 27%、「私的な用件のため」と、「リフレッシュのため」、「子どもにとって、友だちと遊ぶ時間は大切なため」がそれぞれ 9%となっています。



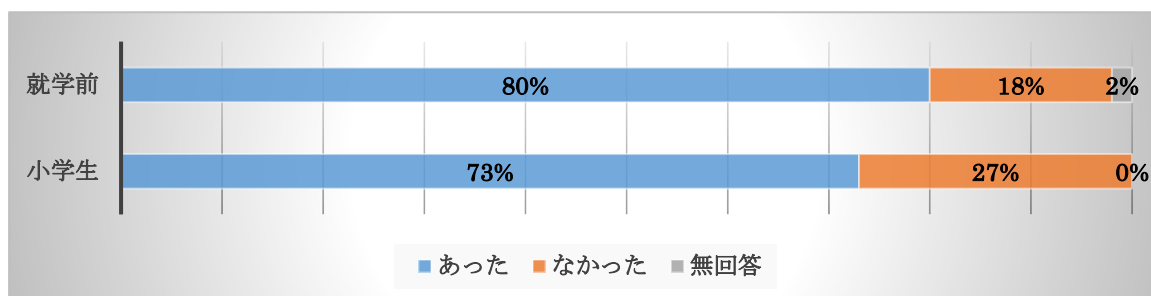
5. お子さんの病気の際の対応について(平日の教育・保育を利用する方のみ)

5-1 この1年間に、お子さんが病気やケガで教育・保育事業が利用できなかったり、学校を休んだことがあるか

【就学前調査:問 23 小学生調査:問 14】

○就学前では、「あった」が80%で、「なかった」の18%を上回っています。

○小学生でも、「あった」が73%で、「なかった」の27%を上回っています。



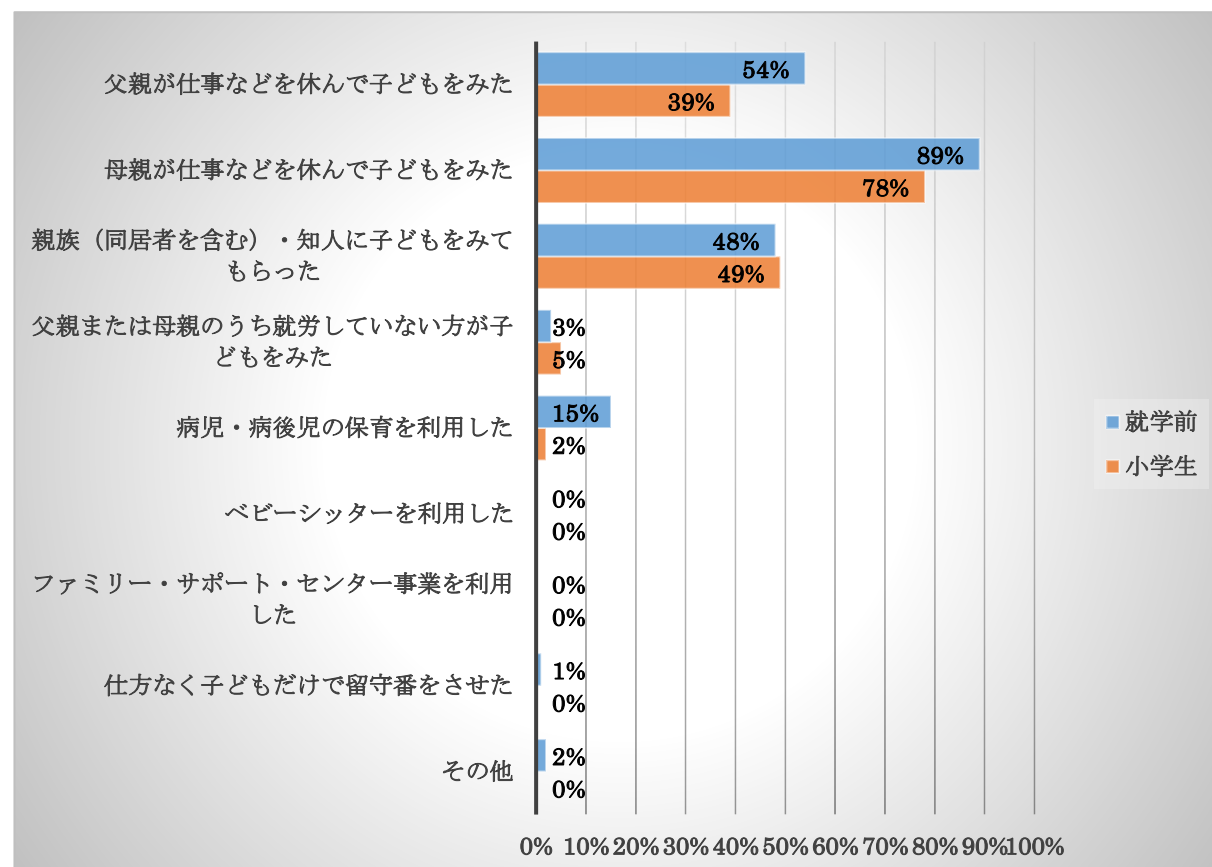
お子さんが病気やケガで教育・保育事業が利用できなかったり、学校を休んだことが「あった」と回答した人

5-2 この1年間に、お子さんが病気やケガで教育・保育事業が利用できなかった、学校を休んだ際、どう対応したか

【就学前調査:問 24 小学生調査:問 15】

○就学前では、「母親が仕事などを休んで子どもをみた」が89%で最も高く、次いで「父親が仕事などを休んで子どもをみた」が54%、「親族(同居者を含む)・知人に子どもをみてもらった」が48%となっています。

○小学生では、「母親が仕事などを休んで子どもをみた」が78%で最も高く、次いで「親族(同居者を含む)・知人に子どもをみてもらった」が49%、「父親が仕事などを休んで子どもをみた」が39%となっています。



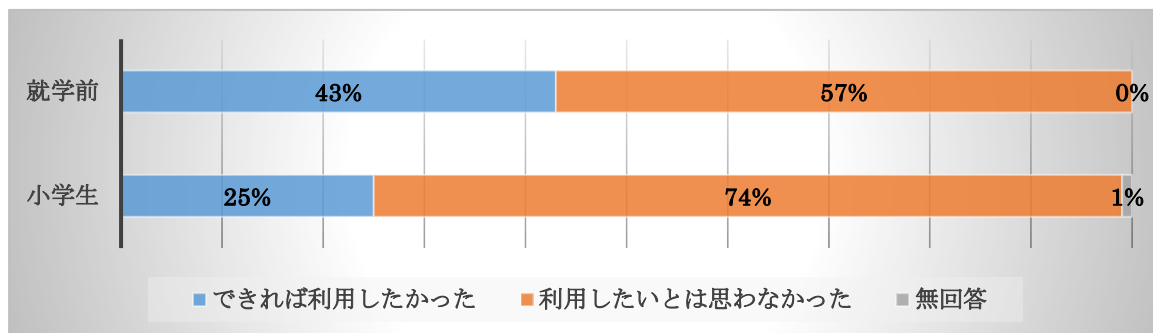
この1年間に、お子さんが病気やケガで教育・保育事業が利用できなかった、学校を休んだ際に、「父親または母親が仕事などを休んで子どもをみた」と回答した人

5-3 できれば「病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったことがあったか

【就学前調査:問 25-1 小学生調査:問 16-1】

○就学前では、「利用したいとは思わなかった」が57%で、「できれば利用したかった」の43%を上回っています。

○小学生でも、「利用したいとは思わなかった」が74%で、「できれば利用したかった」の25%を上回っています。



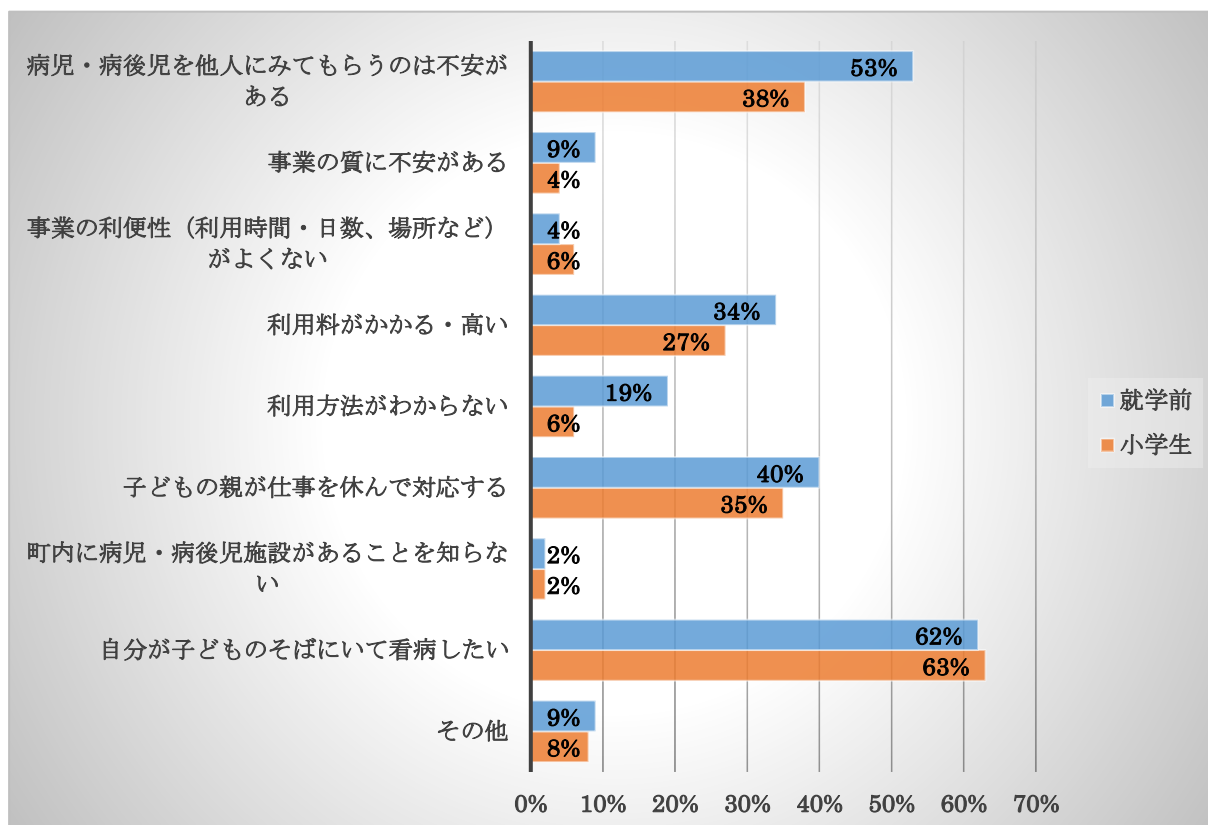
病児・病後児のための保育施設等をできれば「利用したいとは思わなかった」と回答した人

5-4 病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思わなかった理由

【就学前調査:問 25-2 小学生調査:問 16-2】

○就学前では、「自分が子どものそばにいて看病したい」が62%で最も高く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安がある」が53%、「親が仕事を休んで対応する」が40%となっています。

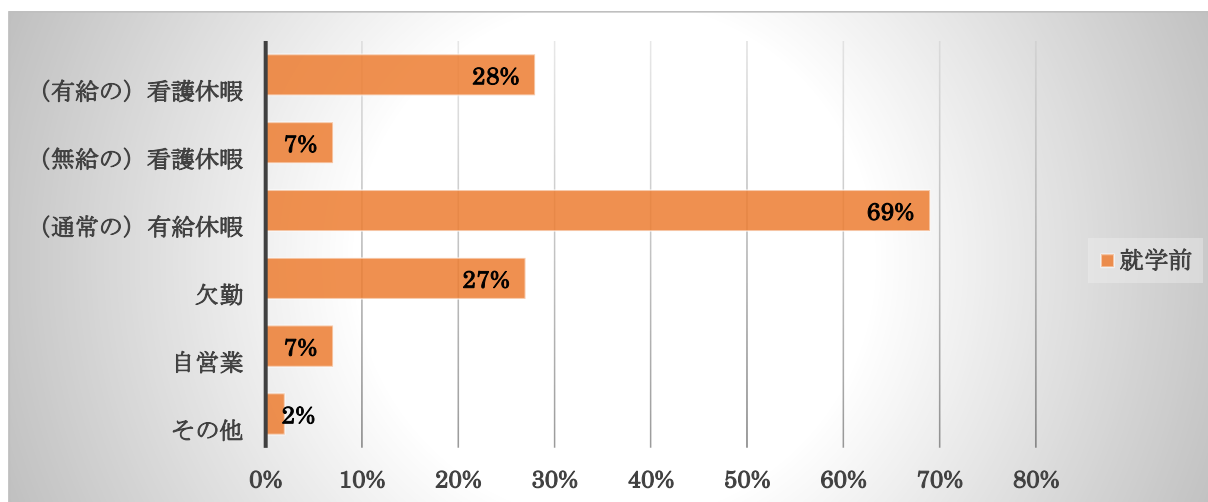
○小学生でも、「自分が子どものそばにいて看病したい」が63%で最も高く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安がある」が38%、「親が仕事を休んで対応する」が35%となっています。



5-5 お子さんが病気で仕事を休んだ際、どのような休暇を取得したか

【就学前調査:問 25-3】

○「(通常の)有給休暇」が69%で最も高く、次いで「(有給の)看護休暇」が28%、「欠勤」が27%となっています。

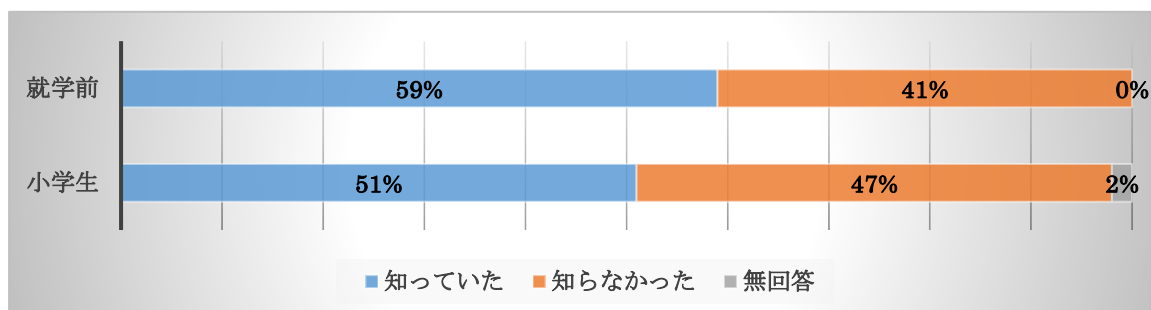


5-6 「看護休暇」という制度について、知っていたか

【就学前調査:問 25-4 小学生調査:問 17】

○就学前では、「知っていた」が59%で最も高く、次いで「知らなかった」が41%となっています。

○小学生でも、「知っていた」が51%で最も高く、次いで「知らなかった」が47%となっています。



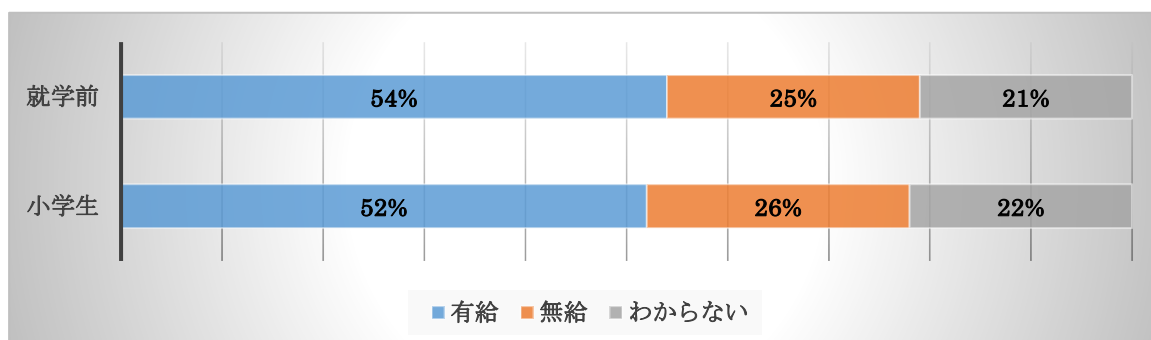
5-7 お勤め先の看護休暇の種類について（母親）

【就学前調査:問 25-5 小学生調査:問 18】

○就学前では、「有給」が54%で最も高く、次いで「無給」が25%、「わからない」が21%となっています。

○小学生でも、「有給」が52%で最も高く、次いで「無給」が26%、「わからない」が22%となっています。

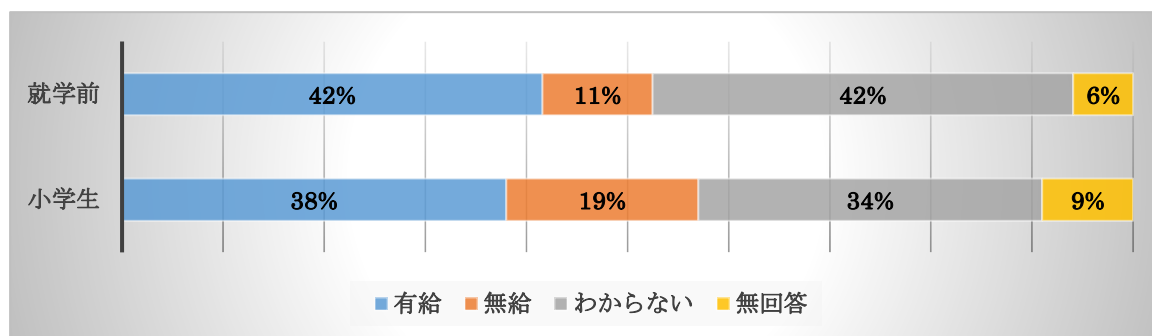
【母親】



5-8 お勤め先の看護休暇の種類について（父親）

【就学前調査：問 25-5 小学生調査：問 18】

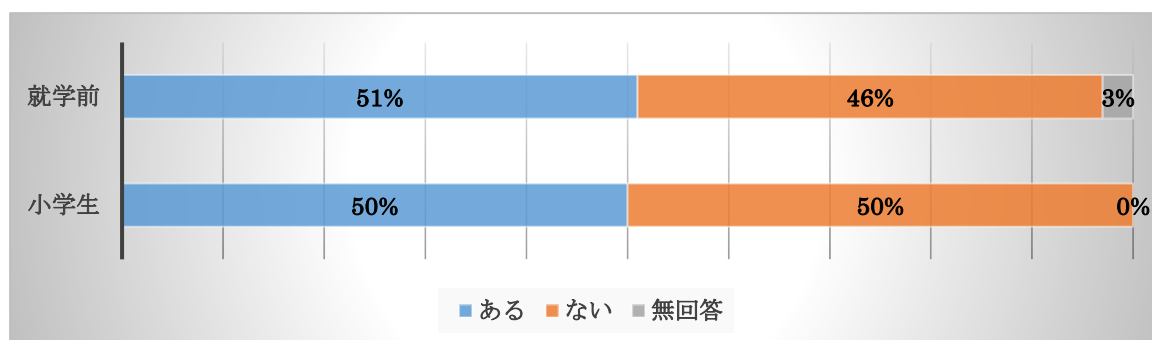
○就学前では、「有給」と「わからない」がそれぞれ 42%で最も高く、次いで「無給」が 11%となっています。
○小学生では、「有給」が 38%で最も高く、次いで「わからない」が 34%、「無給」が 19%となっています。



5-9 これまで看護休暇を利用したことがあったか

【就学前調査：問 25-6 小学生調査：問 19】

○就学前では、「ある」が 51%で最も高く、次いで「ない」が 46%となっています。
○小学生では、「ある」と「ない」がそれぞれ 50%となっています。

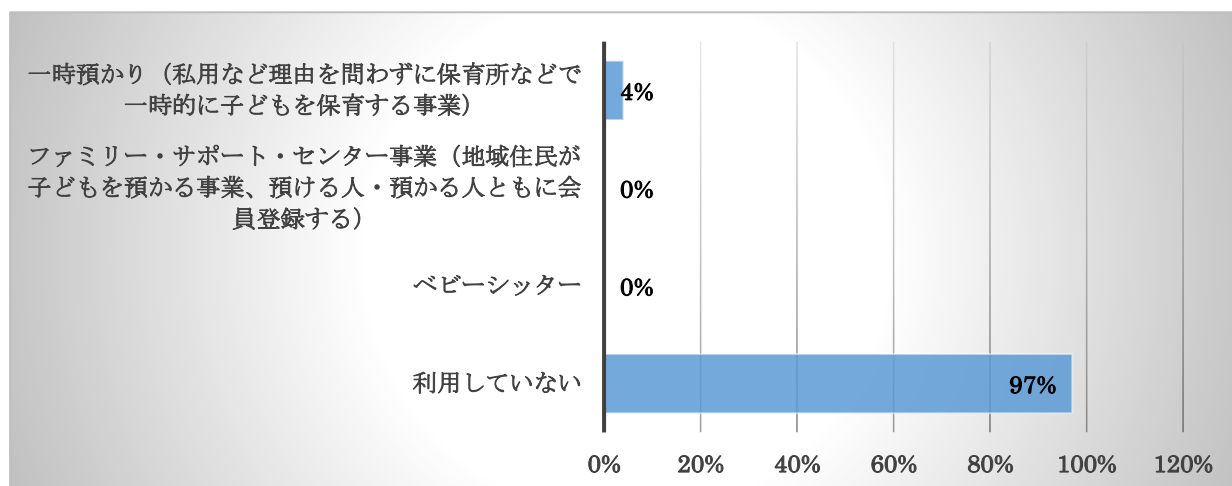


6. お子さんの「不定期」の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について

6-1 私用、親の通院、不定期の就労などの目的で『不定期』に利用している事業

【就学前調査：問 26】

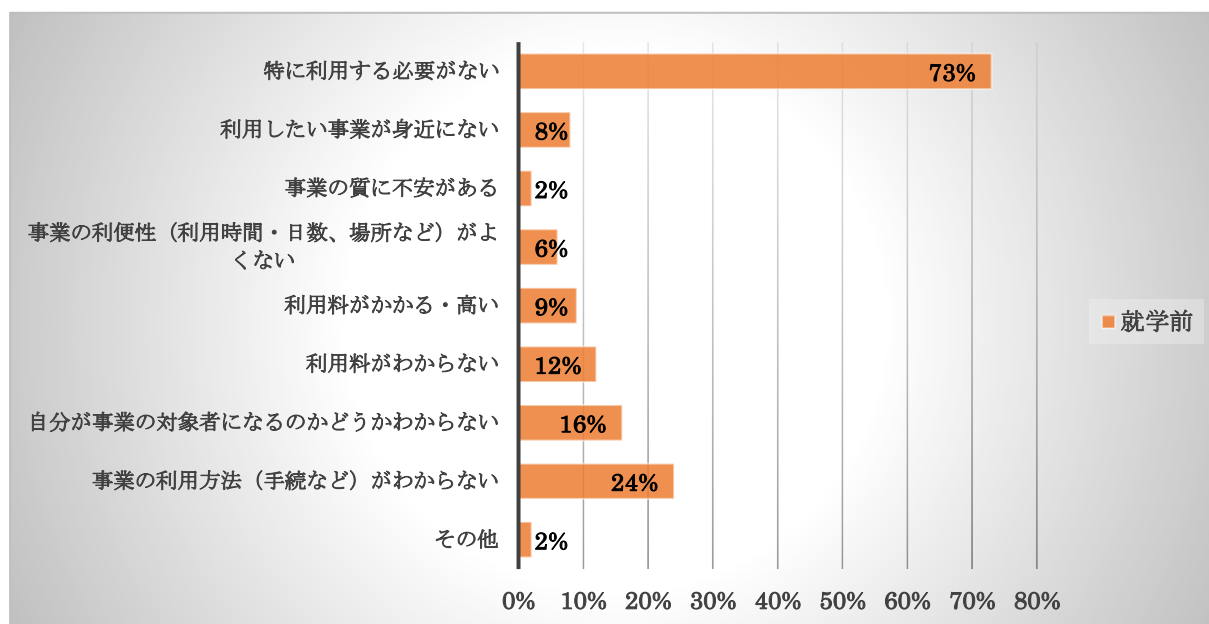
○就学前では、「利用していない」が 97%で最も高く、次いで「一時預かり」が 4%となっています。



6-2 不定期に事業を現在利用していない理由

【就学前調査：問 27】

○「特に利用する必要がない」が 73%で最も高く、次いで「事業の利用方法（手続など）がわからない」が 24%、「自分が事業の対象者になるのかどうかかわからない」が 16%となっています。

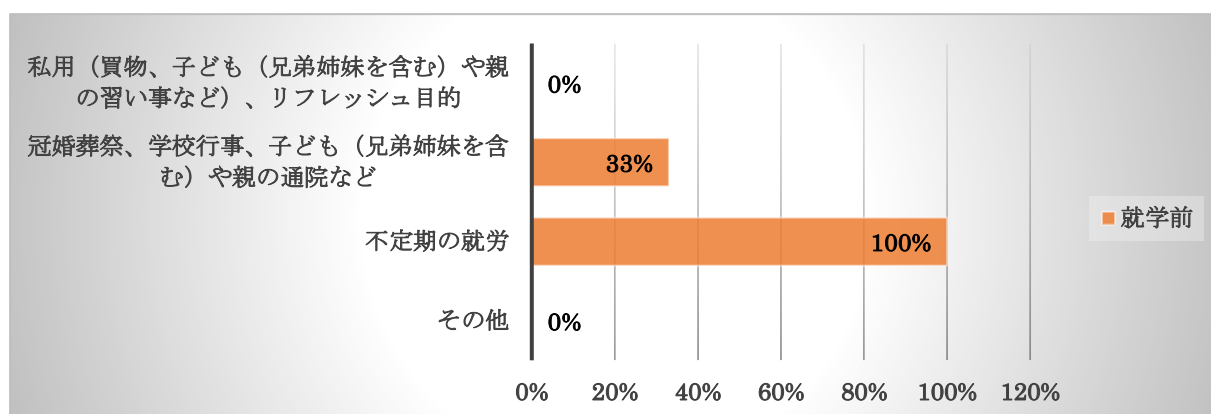
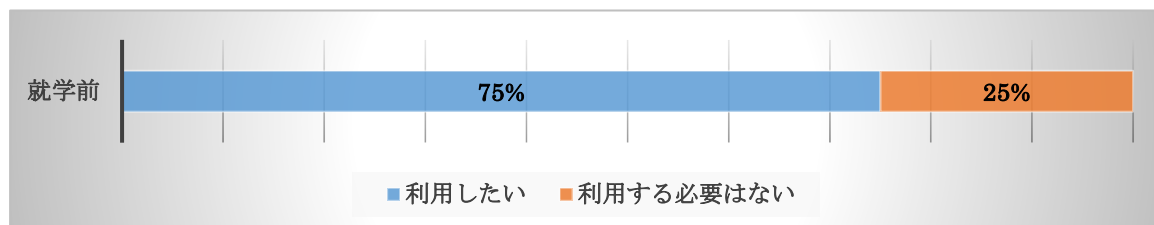


6-3 不定期に事業を利用する必要があるか

【就学前調査：問 28】

○就学前では、「利用したい」が 75%で最も高く、次いで「利用する必要はない」が 25%となっています。

○不定期に事業を利用したい理由についてみると、「不定期の就労」が 100%で最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院など」が 33%となっています。

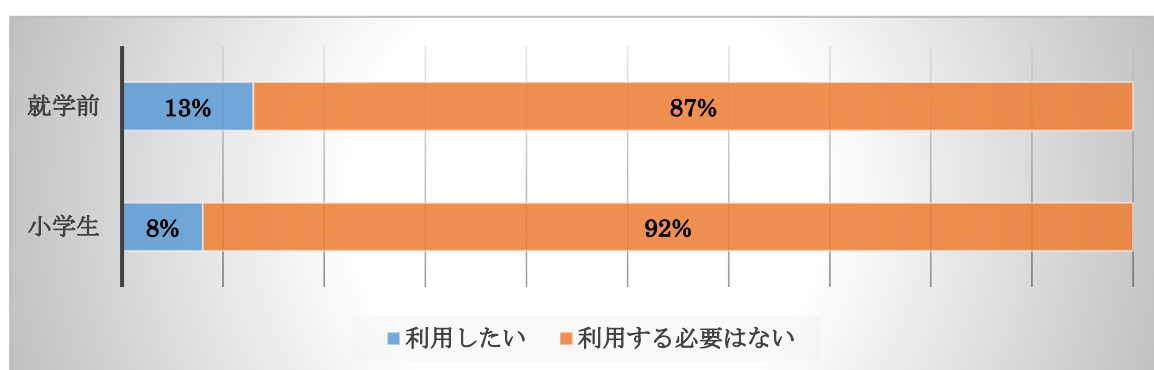


6-4 保護者の用事による子育て短期支援事業の利用希望の有無について

【就学前調査：問 29 小学生調査：問 20】

○就学前では、「利用する必要はない」が 87%で、「利用したい」の 13%を上回っています。

○小学生でも、「利用する必要はない」が 92%で、「利用したい」の 8%を上回っています。



7. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

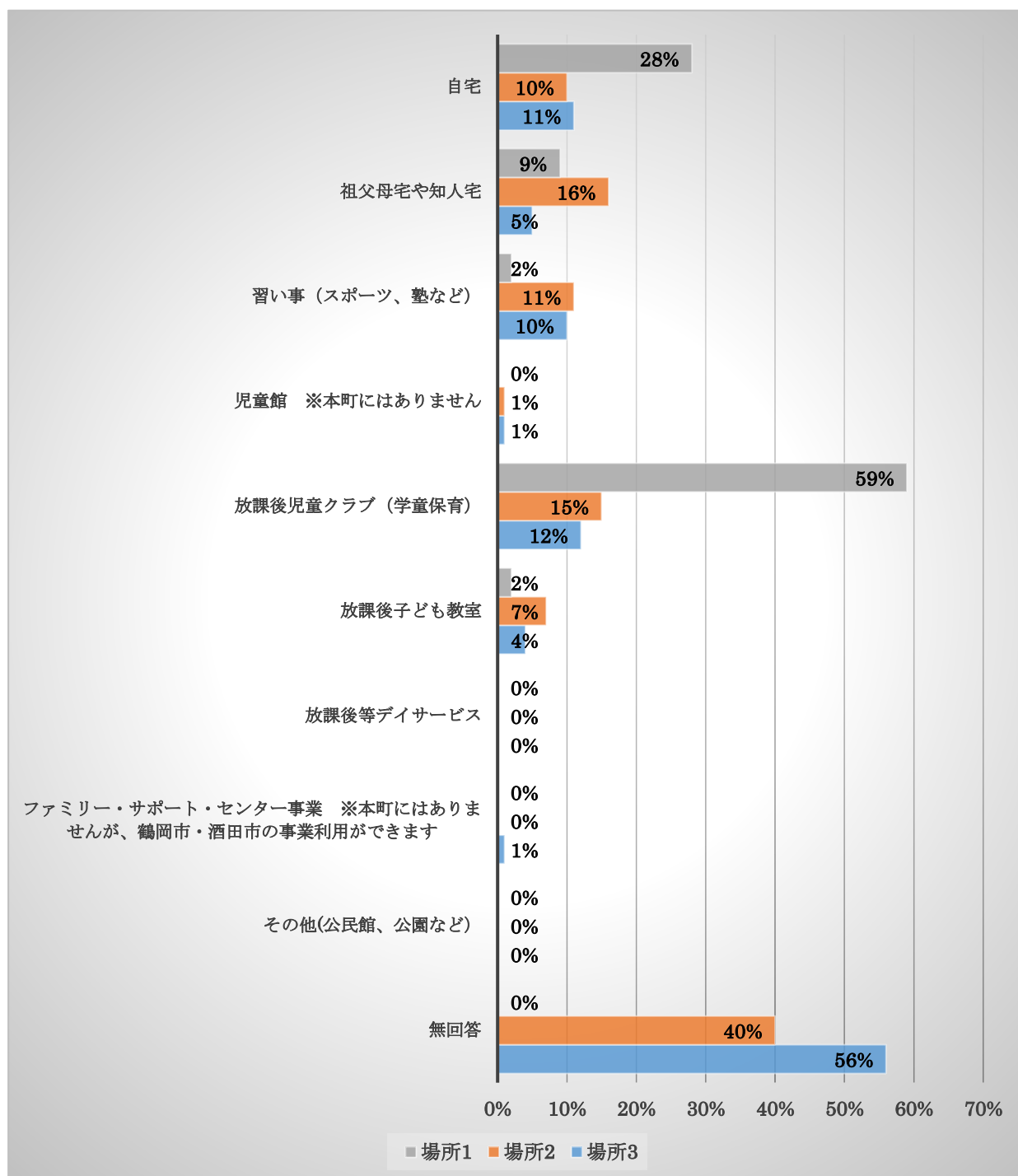
7-1 【就学前】小学校に入ったら、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいか

【就学前調査: 問 30】

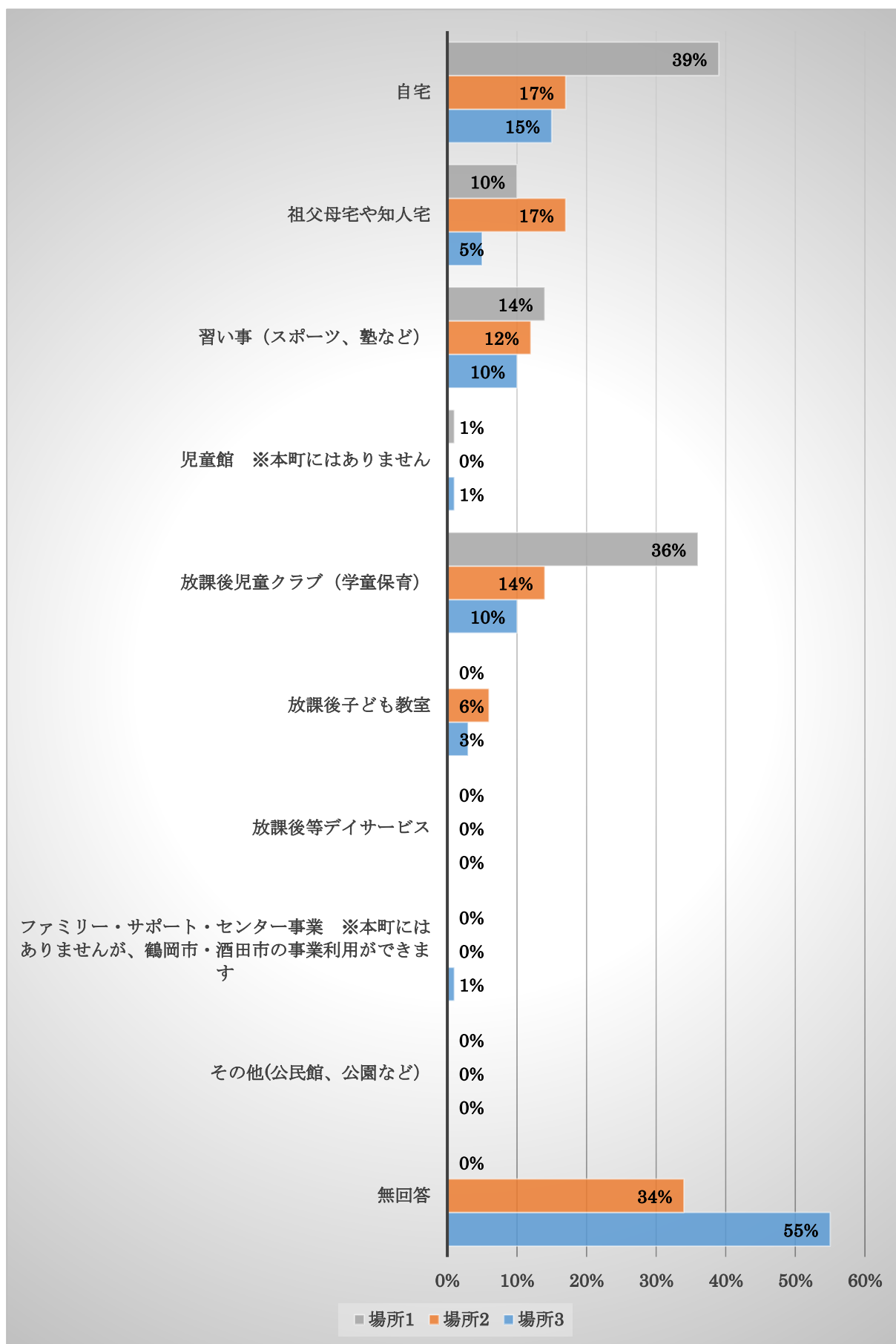
○1～3 年生では、未回答を除けば、「放課後児童クラブ(学童保育)」が最も多く、次いで「自宅」、「祖父母宅や知人宅」となっています。

○4～6 年生では、未回答を除けば、「自宅」が最も多く、次いで「放課後児童クラブ(学童保育)」、「祖父母宅や知人宅」となっています。

【場所1～3 小学校1～3年生】



【場所1～3 小学校4～6年生】



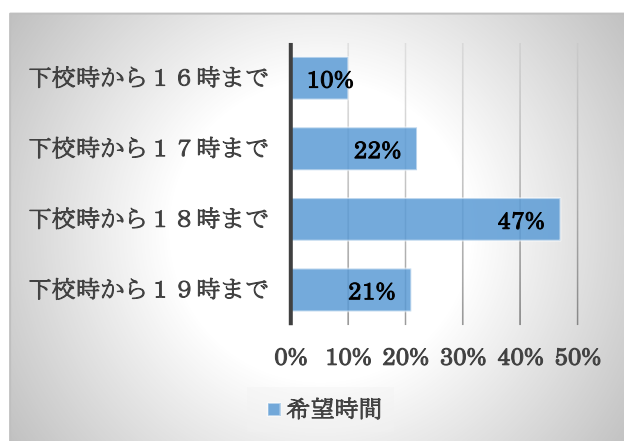
7-2 【就学前】放課後児童クラブ（学童保育）の平日の希望利用時間

【就学前調査：問 31-1】

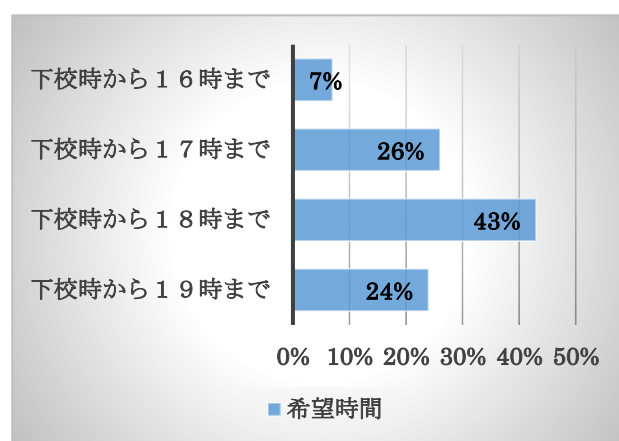
○1～3 年生では、「下校時から 18 時まで」が 47%で最も高く、次いで「下校時から 17 時まで」が 22%、「下校時から 19時まで」が 21%となっています。

○4～6 年生でも、「下校時から 18 時まで」が 43%で最も高く、次いで「下校時から 17 時まで」が 26%、「下校時から 19時まで」が 24%となっています。

【小学校 1～3 年生】



【小学校 4～6 年生】



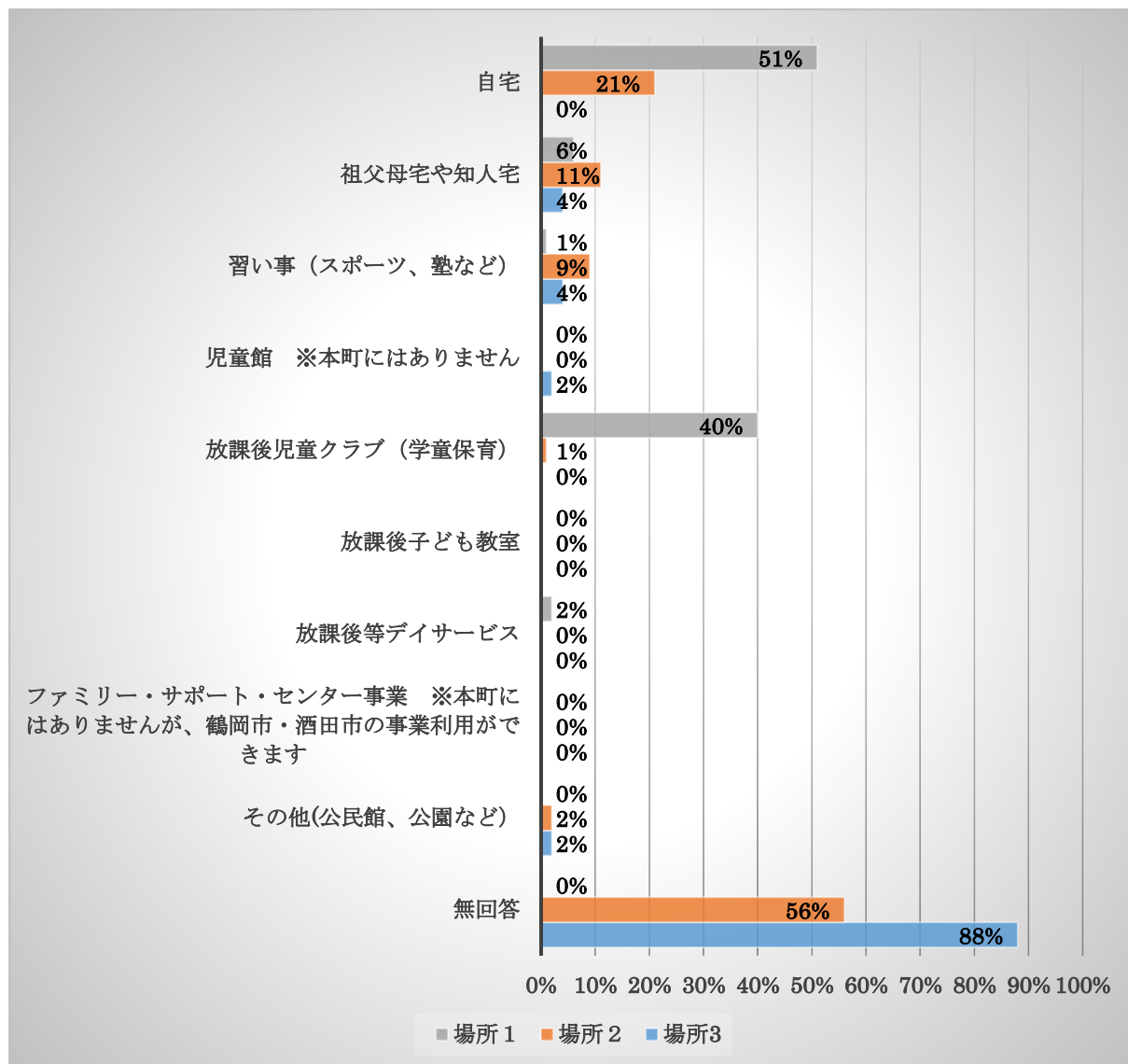
7-3 【小学生】放課後の過ごし方の現状と希望

【小学生調査:問 21】

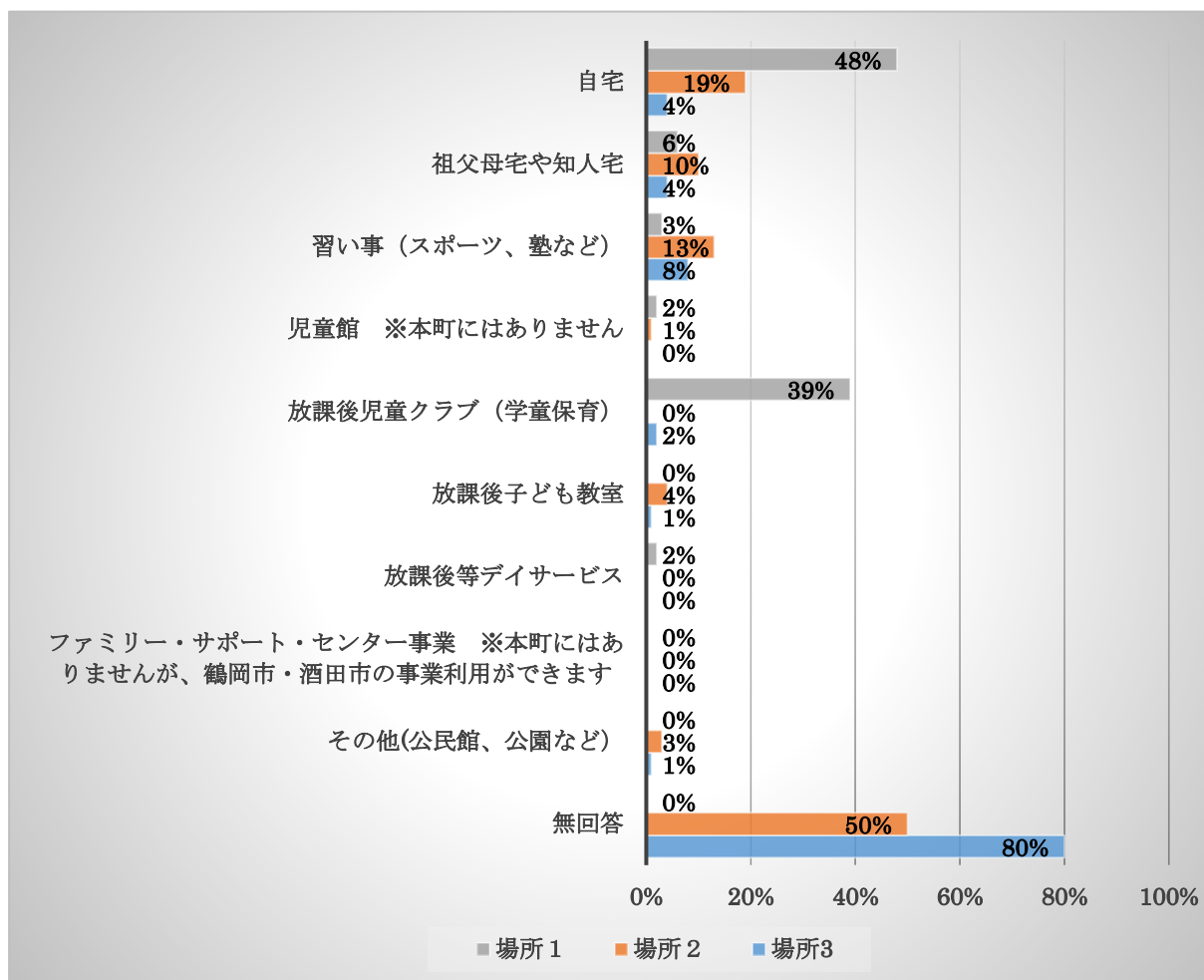
○現在では、「自宅」が51%で最も高く、次いで「放課後児童クラブ(学童保育)」が40%となっています。

○希望でも、「自宅」が48%で最も高く、次いで「放課後児童クラブ(学童保育)」が39%となっています。

【現在の場所】



【希望の場所】



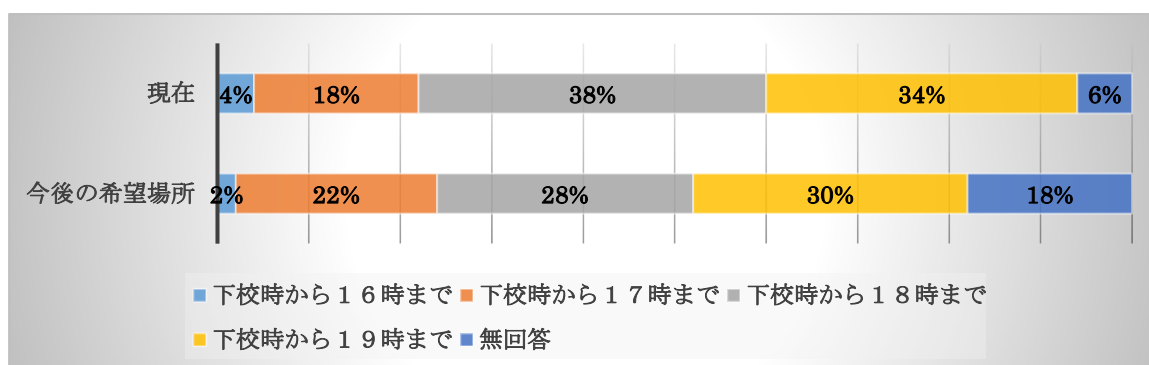
放課後の過ごし方の現状と希望で「放課後児童クラブ (学童保育)」と回答した人

7-4 【小学校】放課後児童クラブ (学童保育) の平日の利用時間

【小学校調査: 問 21-1】

○現在では、「下校時から 18 時まで」が 38%で最も高く、次いで「下校時から 19 時まで」が 34%、「下校時から 17 時まで」が 18%となっています。

○希望では、「下校時から 19 時まで」が 30%で最も高く、次いで「下校時から 18 時まで」が 28%、「下校時から 17 時まで」が 22%となっています。

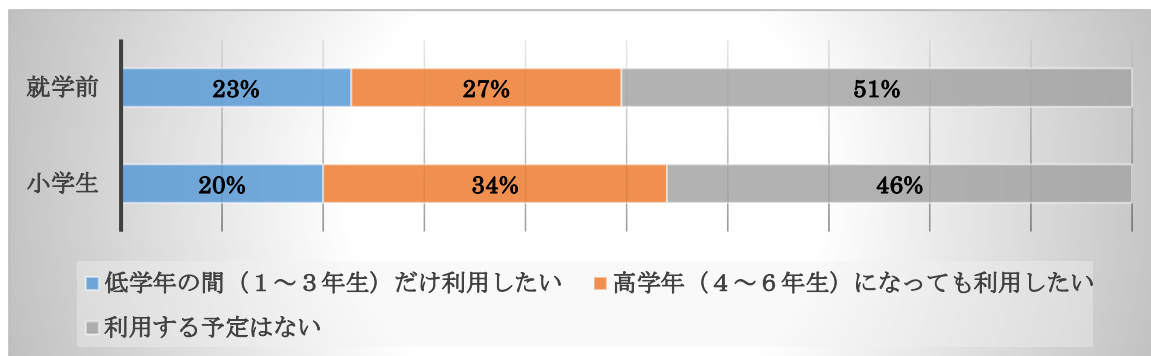


7-5 土曜日、日曜日・祝日、長期の休み（春・夏・冬休み）放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望

【就学前調査：問 31-2 小学生調査：問 21-2】

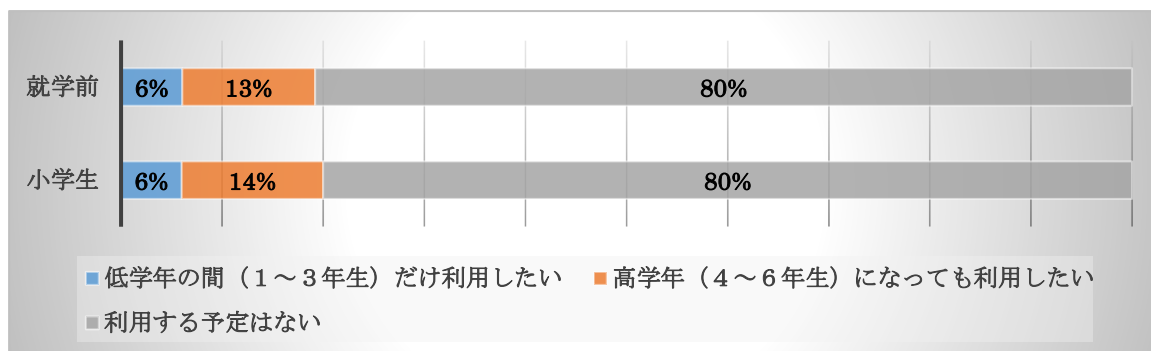
①土曜日

○利用希望をみると、就学前では、「利用する必要はない」が 51%で最も高く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が 27%、「低学年の間（1～3年生）だけ利用したい」が 23%となっています。小学生でも、「利用する必要はない」が 46%で最も高く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が 34%、「低学年の間（1～3年生）だけ利用したい」が 20%となっています。



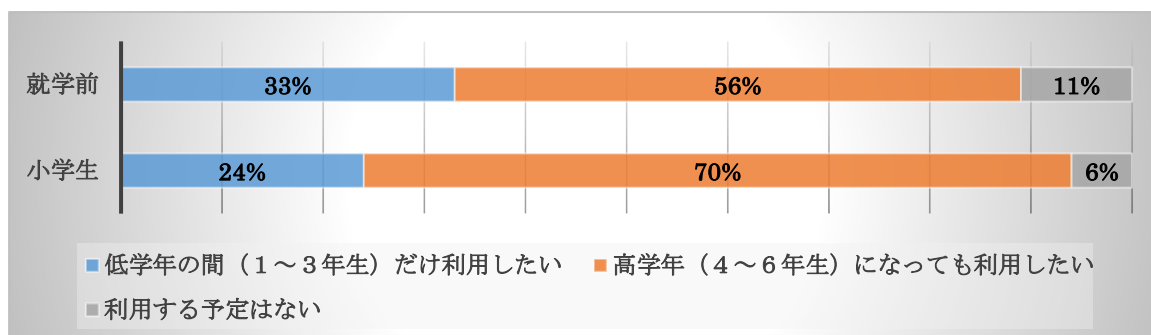
②日曜日・祝日

○利用希望をみると、就学前では「利用する必要はない」が 80%で最も高く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が 13%、「低学年の間（1～3年生）だけ利用したい」が 6%となっています。小学生でも、「利用する必要はない」が 80%で最も高く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が 14%、「低学年の間（1～3年生）だけ利用したい」が 6%となっています。



③長期の休み（春・夏・冬休み）

○利用希望をみると、就学前では、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が 56%で最も高く、次いで「低学年の間（1～3年生）だけ利用したい」が 33%、「利用する必要はない」が 11%となっています。小学生では、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が 70%で最も高く、次いで「低学年の間（1～3年生）だけ利用したい」が 24%、「利用する必要はない」が 6%となっています。



8. 育児休業や短時間勤務制度などの職場と子育ての両立支援制度について

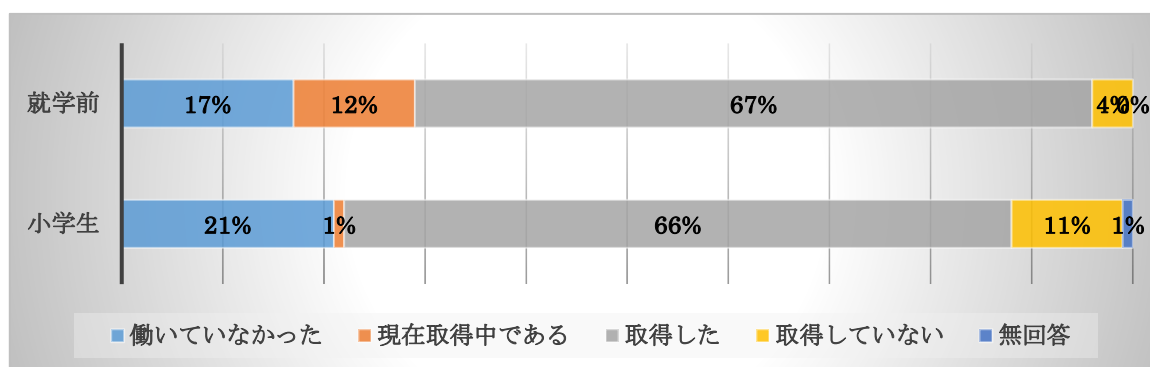
8-1 お子さんが生まれた時（その後）育児休業を取得したか

【就学前調査：問 32 小学生調査：問 22】

①母親

○就学前では、「取得した」が 67%で最も高く、次いで「働いていなかった」が 17%、「現在取得中である」が 12%となっています。

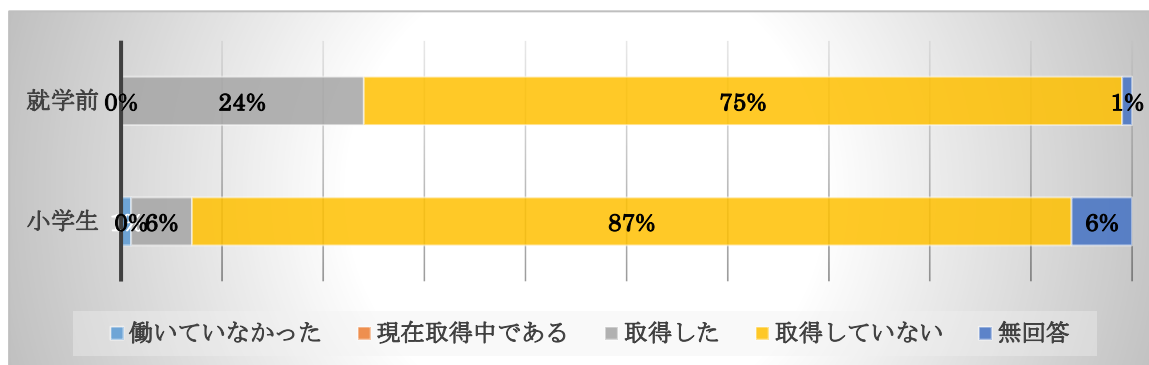
○小学生では、「取得した」が 66%で最も高く、次いで「働いていなかった」が 21%、「取得していない」が 11%となっています。



②父親

○就学前では、「取得していない」が 75%で最も高く、次いで「取得した」が 24%となっています。

○小学生では、「取得していない」が 87%で最も高く、次いで「取得した」と「未回答」がそれぞれ 6%となっています。



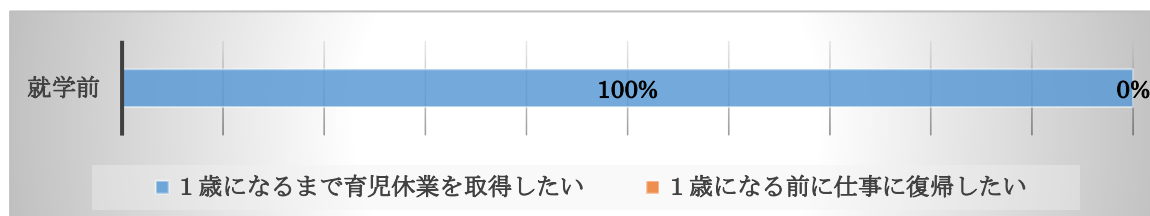
現在育児休業中を「現在取得中である」と回答した人

8-2 お子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育があれば、1歳になるまで育児休業を取得するか

【就学前調査:問 33】

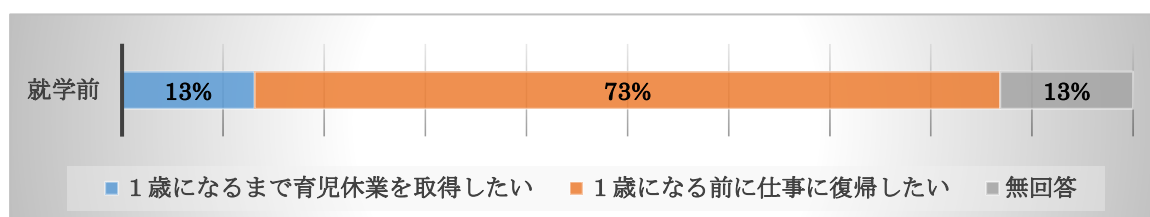
①母親

○「1歳になるまで育児休業を取得したい」が100%で、「1歳になる前に仕事に復帰したい」は0%でした。



②父親

○「1歳になる前に仕事に復帰したい」が73%で、「1歳になるまで育児休業を取得したい」と「未回答」がそれぞれ13%でした。

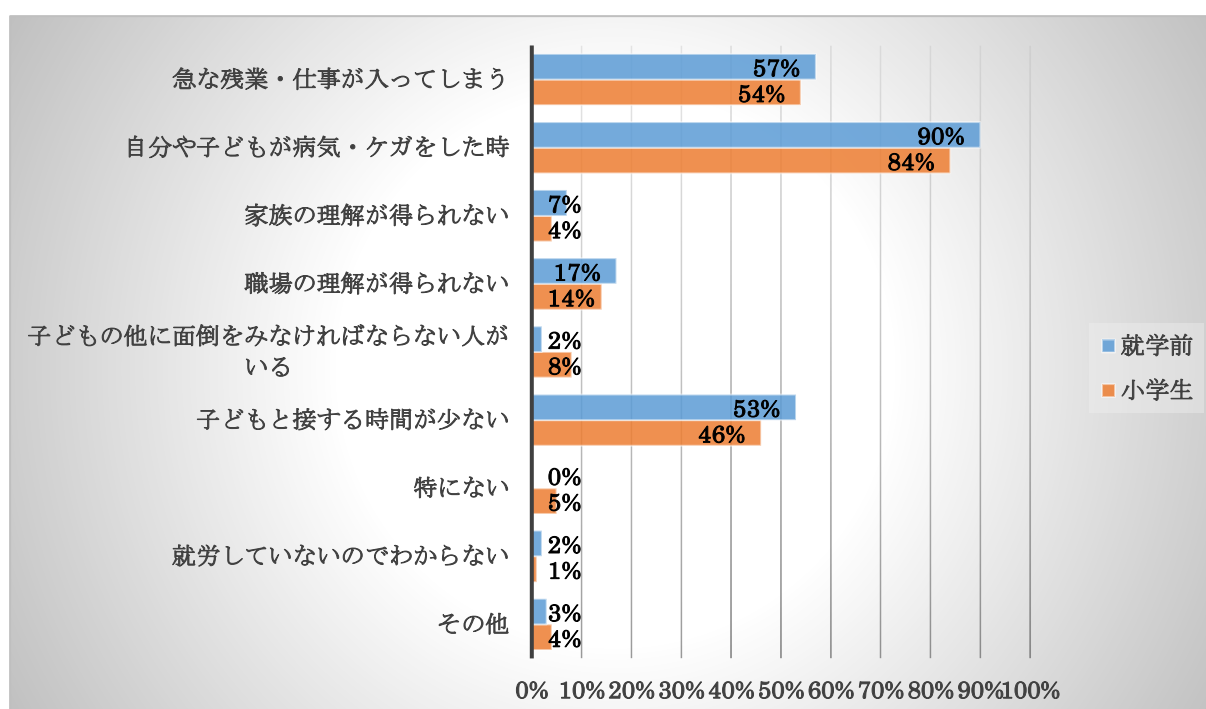


8-4 仕事と子育てを両立する上で大変だと感じること

【就学前調査:問 35 小学生調査:問 23】

○就学前では、「自分や子どもが病気・ケガをした時」が90%で最も高く、次いで「急な残業・仕事が入ってしまう」が57%、「子どもと接する時間が少ない」が53%となっています。

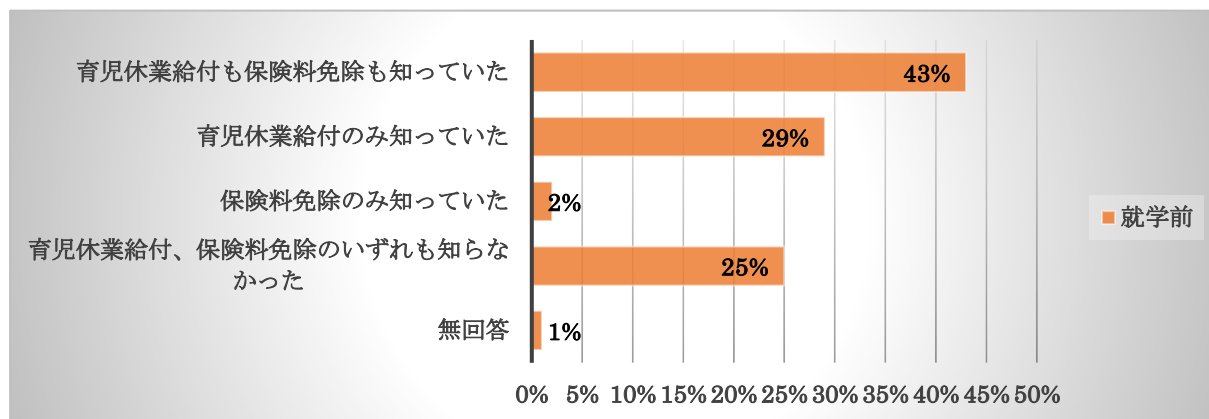
○小学生でも、「自分や子どもが病気・ケガをした時」が84%で最も高く、次いで「急な残業・仕事が入ってしまう」が54%、「子どもと接する時間が少ない」が46%となっています。



8-5 育児休業給付が支給されるしくみや、健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になるしくみを知っているか

【就学前調査:問 36】

○「育児休業給付も保険料免除も知っていた」が 43%で最も高く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」が 29%、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が 25%となっています。

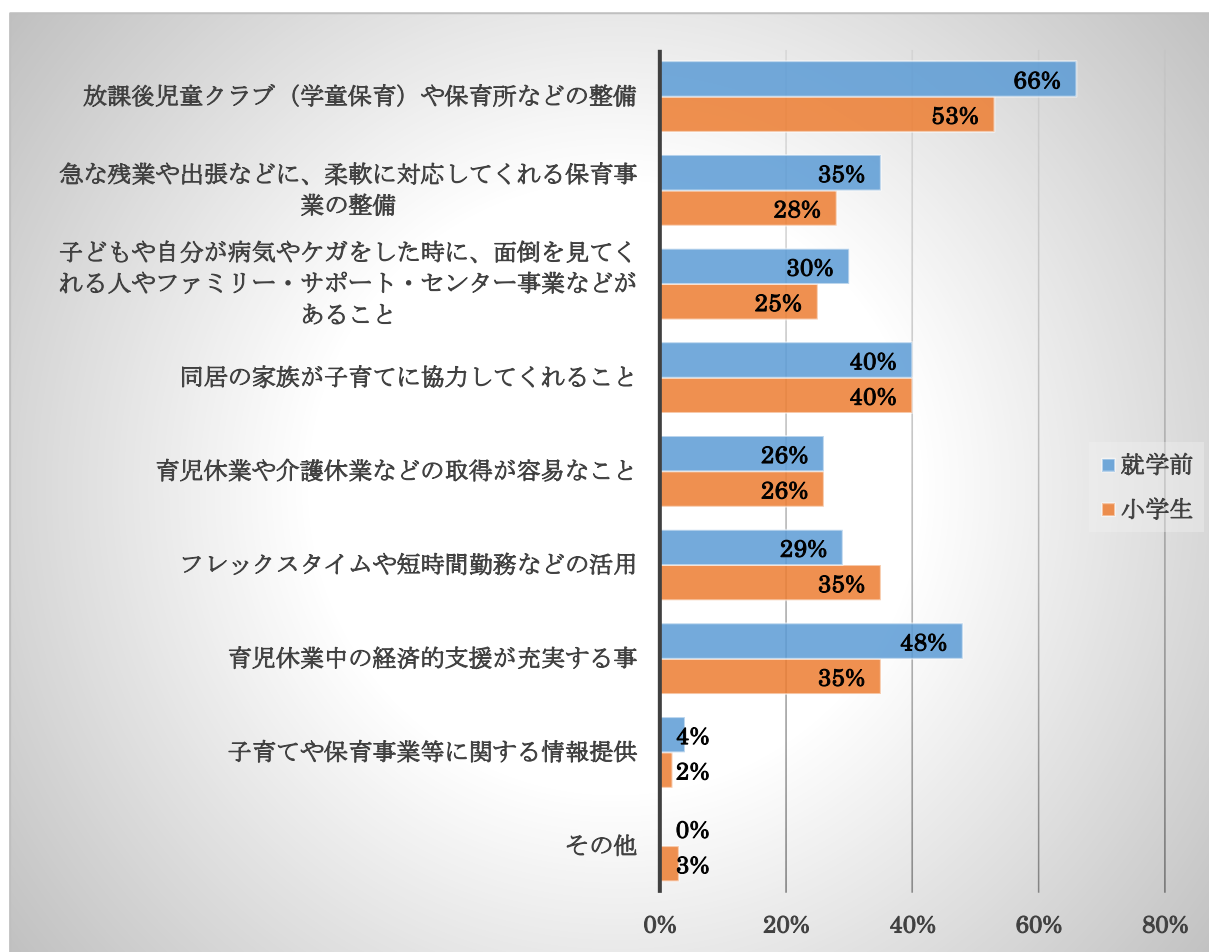


8-6 仕事と子育てを両立する上で必要だと思うことは何ですか。

【就学前調査:問 37 小学生調査:問 24】

○就学前では、「放課後児童クラブ(学童保育)や保育所などの整備」が 66%で最も高く、次いで「育児休業中の経済的支援が充実すること」が 48%、「同居の家族が子育てに協力してくれること」が 40%となっています。

○小学生では、「放課後児童クラブ(学童保育)や保育所などの整備」が 53%で最も高く、次いで「同居の家族が子育てに協力してくれること」が 40%、「フレックスタイムや短時間勤務などの活用」と、「育児休業中の経済的支援が充実すること」がそれぞれ 35%となっています。

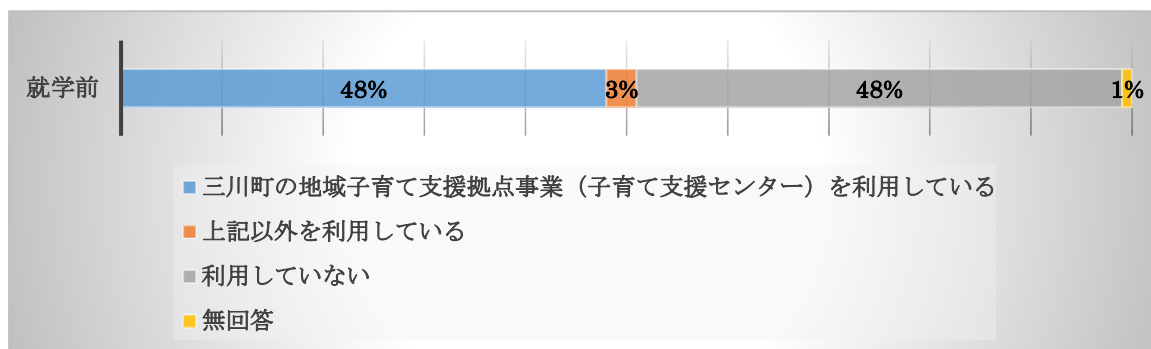


9. お子さんの地域の子育て支援関連事業について

9-1 現在の地域子育て支援拠点事業の利用状況

【就学前調査：問 38】

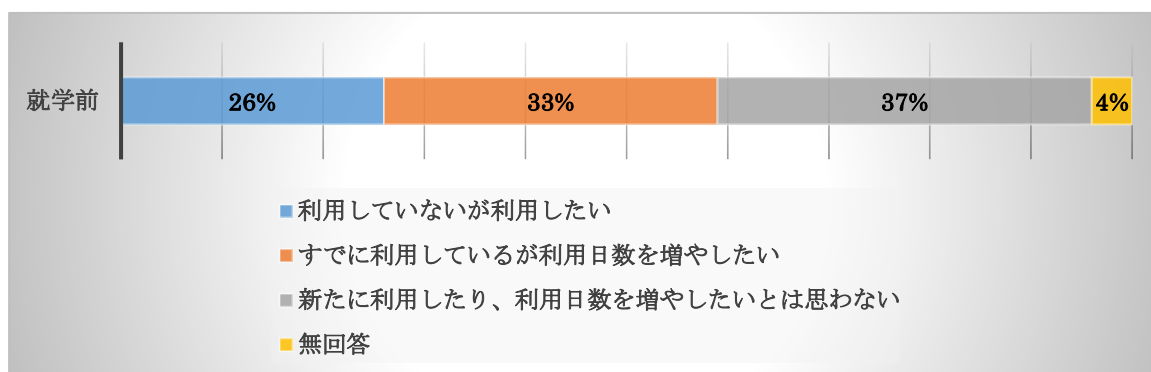
○「三川町の地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター）を利用している」と「利用していない」がそれぞれ 48%で最も高く、次いで「三川町の地域子育て支援拠点事業以外を利用している」が 3%となっています。



9-2 今後の子育て支援拠点事業の利用意向

【就学前調査：問 39】

○就学前では、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 37%で最も高く、次いで「すでに利用しているが利用日数を増やしたい」が 33%、「利用していないが利用したい」が 26%となっています。

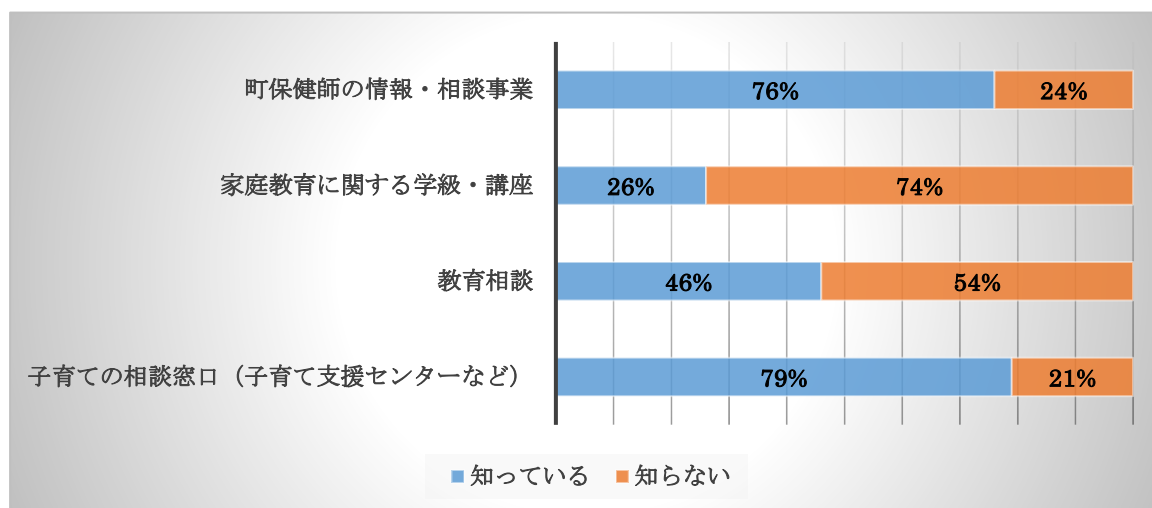


9-3 町内で実施している子育て支援関連事業

【就学前調査:問 40】

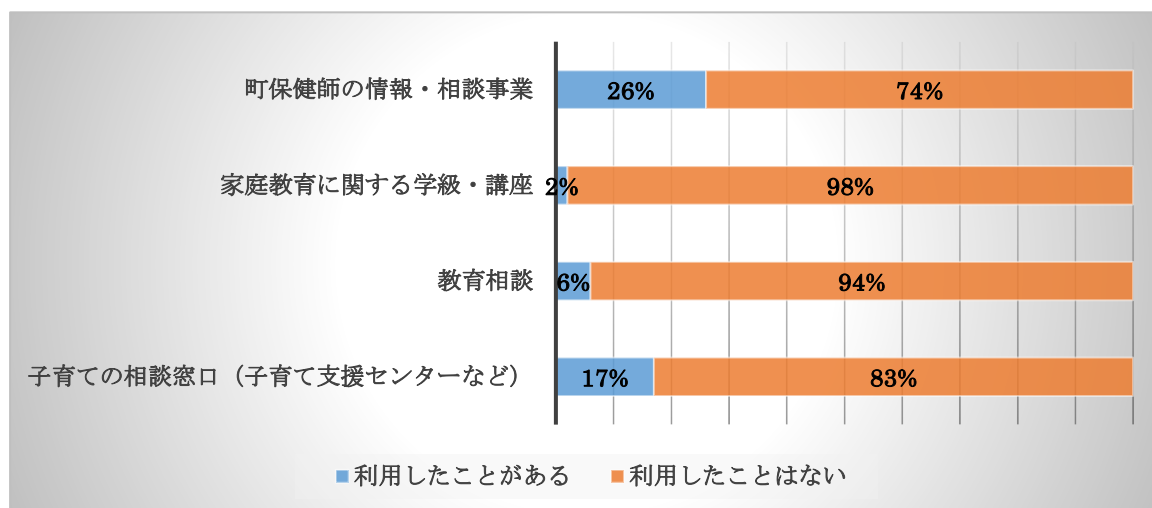
①認知度

○〔町保健師の情報・相談事業〕〔子育ての相談窓口(子育て支援センターなど)〕においては、「知っている」が「知らない」を上回っており、特に〔子育ての相談窓口(子育て支援センターなど)〕ではほぼ 8 割となっています。



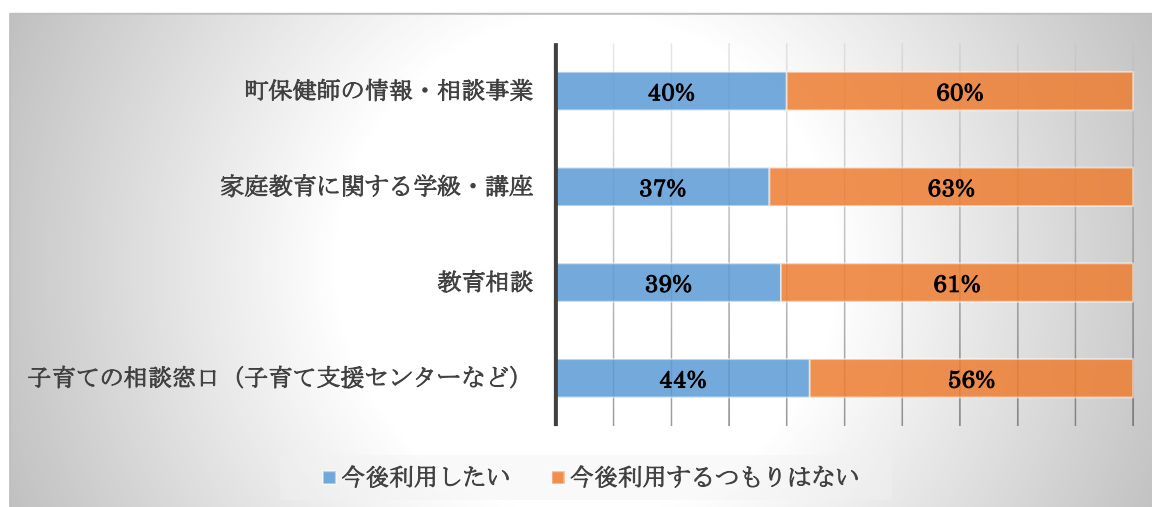
②利用状況

○いずれの項目も、「利用したことはない」が「利用したことがある」を上回っています。〔町保健師の情報・相談事業〕〔子育ての相談窓口(子育て支援センターなど)〕では、「利用したことがある」が 2 割弱～2 割半となっています。



③利用意向

○いずれの項目も、「今後利用したい」が4割前後となっています。

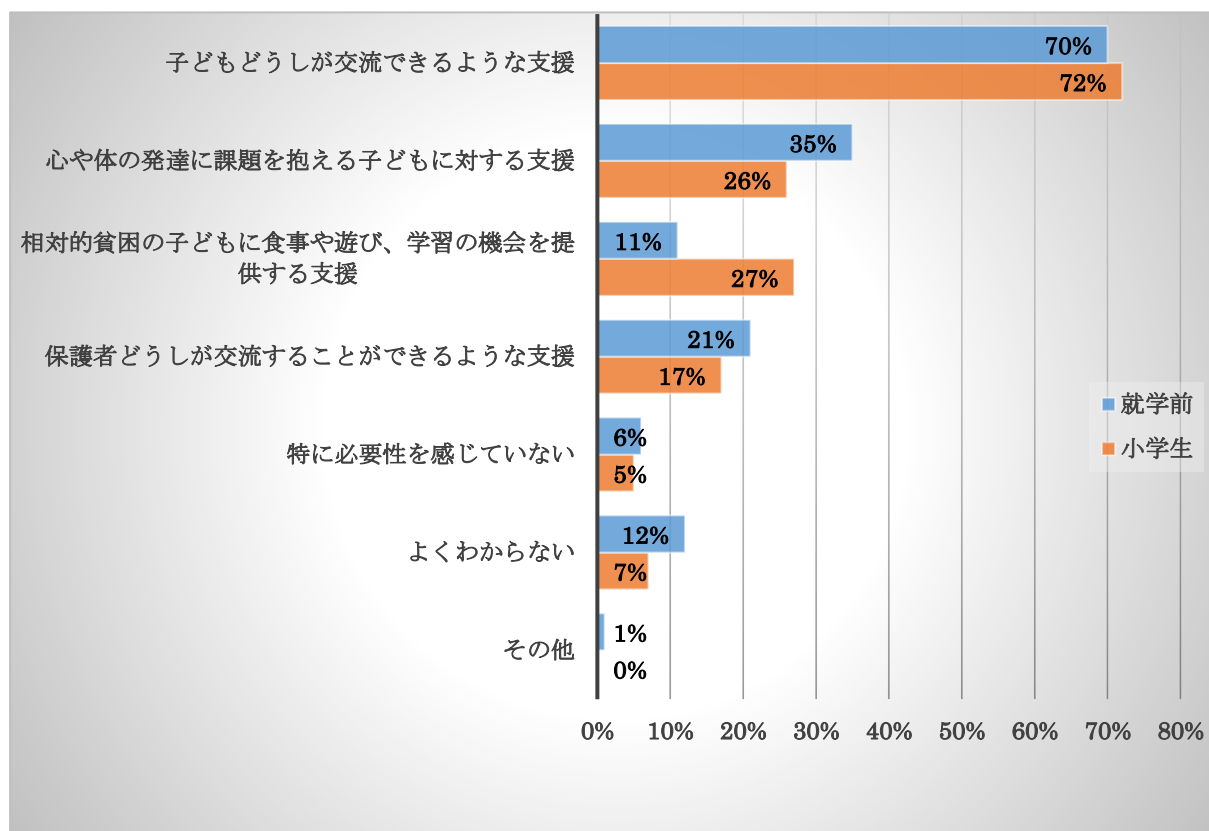


9-4 子どもの居場所づくりのために、特にどのような支援に力を入れたらよいか

【就学前調査: 問 41 小学生調査: 問 35】

○就学前では、「子どもどうしが交流できるような支援」が70%で最も高く、次いで「心や体の発達に課題を抱える子どもに対する支援」が35%、「保護者どうしが交流することができるような支援」が21%となっています。

○小学生でも、「子どもどうしが交流できるような支援」が72%で最も高く、次いで「相対的貧困の子どもに食事や遊び、学習の機会を提供する支援」が27%、「心や体の発達に課題を抱える子どもに対する支援」が26%となっています。



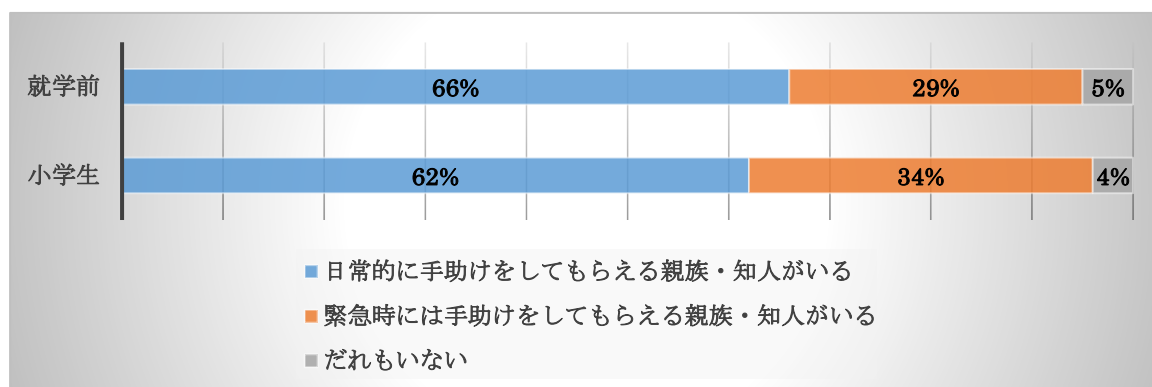
10. 子どもの育ちをめぐる環境などについて

10-1 お子さんのお世話を手助けしてもらえる親族・知人はいるか

【就学前調査:問 42 小学生調査:問 25】

○就学前では、「日常的に手助けをしてもらえる親族・知人がいる」が 66%で最も高く、次いで「緊急時には手助けをしてもらえる親族・知人がいる」が 29%、「だれもいない」が 5%となっています。

○小学生でも、「日常的に手助けをしてもらえる親族・知人がいる」が 62%で最も高く、次いで「緊急時には手助けをしてもらえる親族・知人がいる」が 34%、「だれもいない」が 4%となっています。

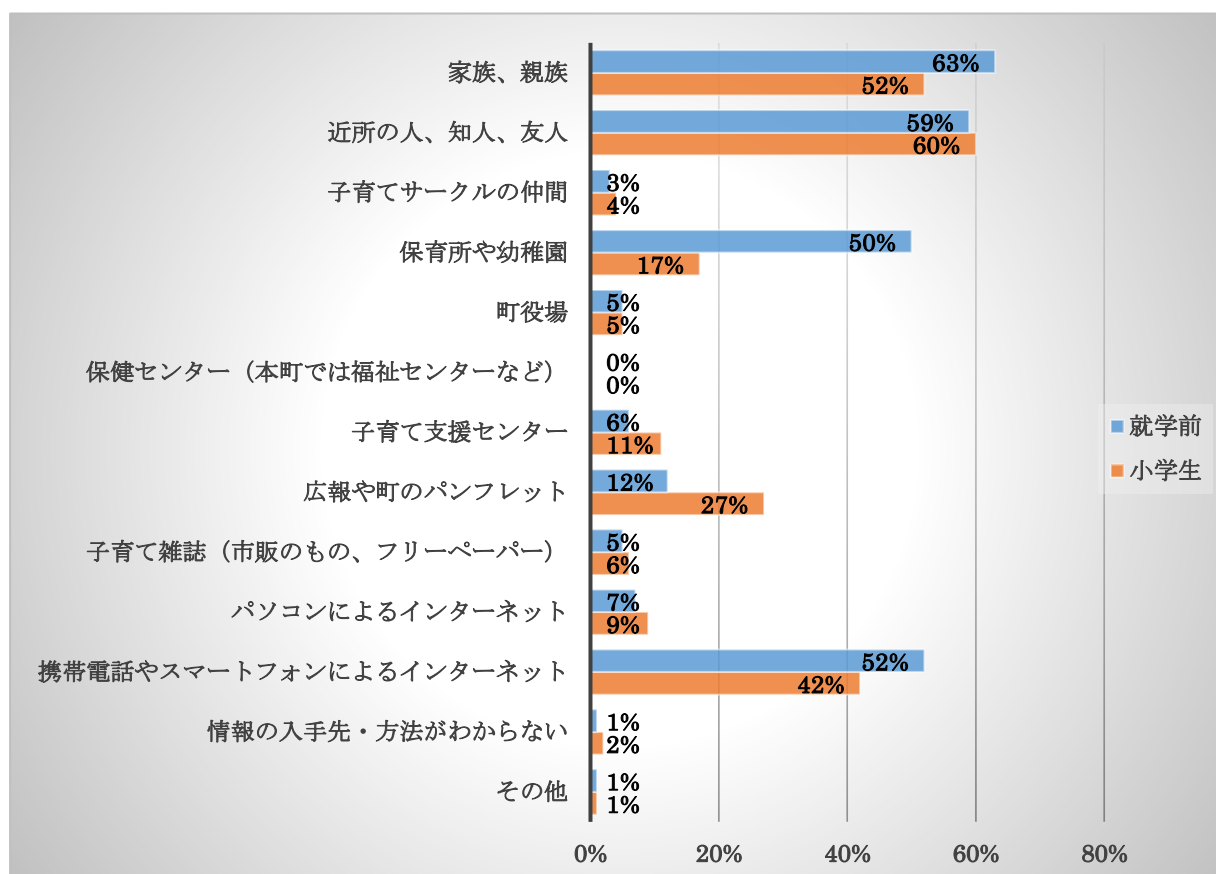


10-2 子育てに関する情報の入手先

【就学前調査:問 43 小学生調査:問 26】

○就学前では、「家族、親族」が 63%で最も高く、次いで「近所の人、知人、友人」が 59%、「携帯電話やスマートフォンによるインターネット」が 52%となっています。

○小学生では、「近所の人、知人、友人」が 60%で最も高く、次いで「家族、親族」が 52%、「携帯電話やスマートフォンによるインターネット」が 42%となっています。

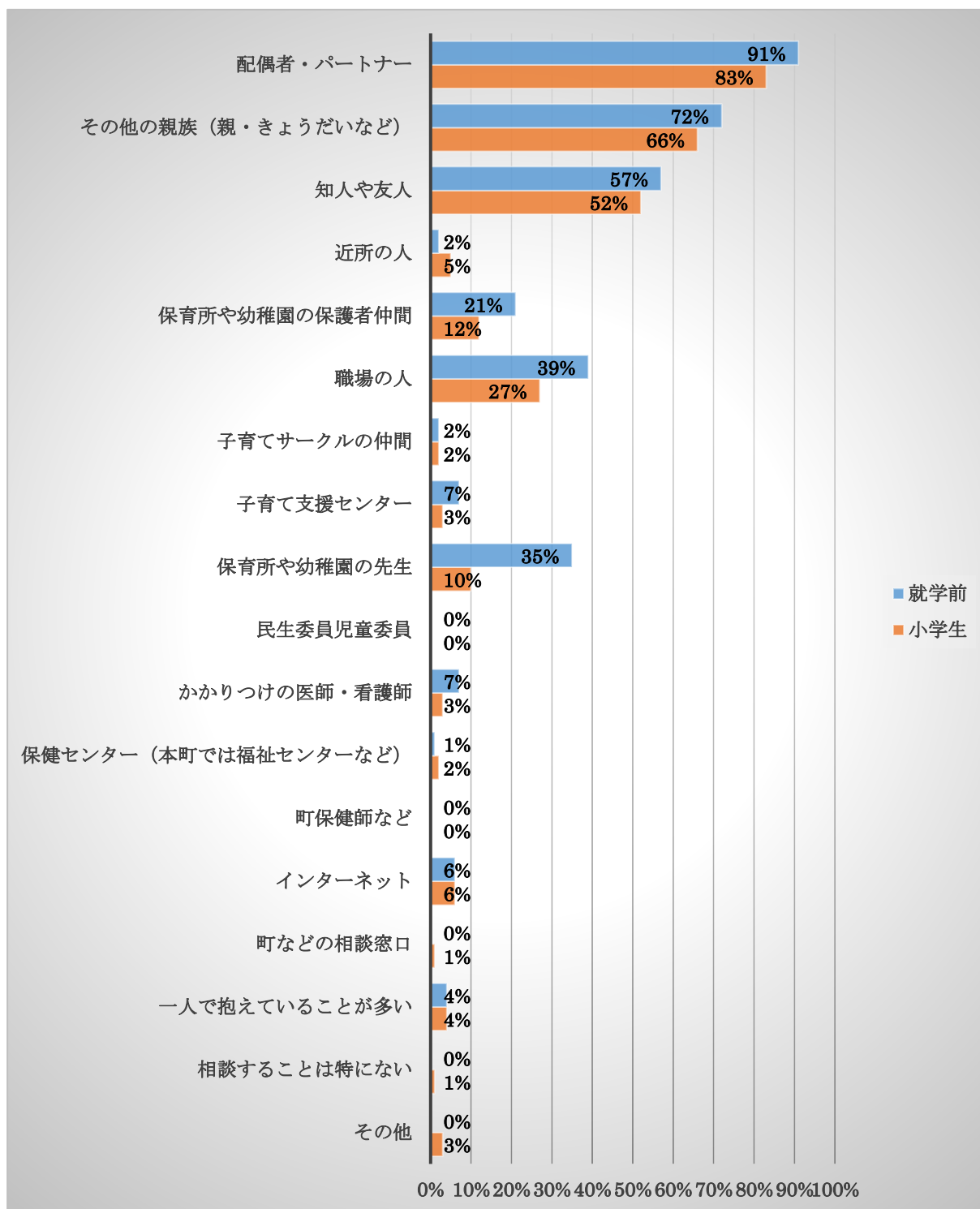


10-3 お子さんの子育てに関する相談先

【就学前調査:問 44 小学生調査:問 27】

○就学前では、「配偶者・パートナー」が 91%で最も高く、次いで「その他の親族(親・きょうだいなど)」が 72%、「友人や知人」が 57%となっています。

○小学生でも、「配偶者・パートナー」が 83%で最も高く、次いで「その他の親族(親・きょうだいなど)」が 66%、「友人や知人」が 52%となっています。

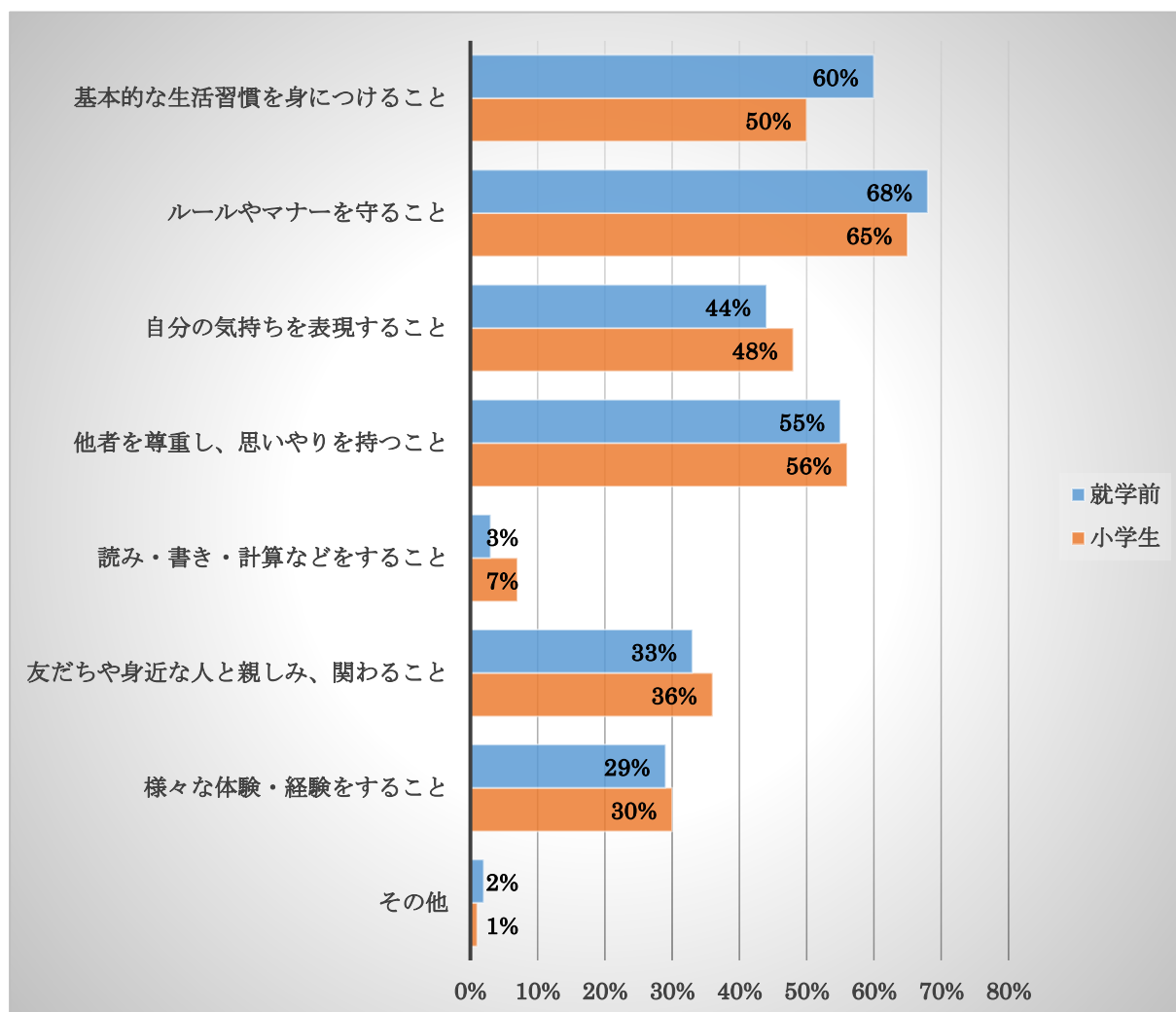


10-4 お子さんに特に身につけてほしい力や大切にしてほしいと思うこと

【就学前調査:問 45 小学生調査:問 28】

○就学前では、「ルールやマナーを守ること」が 68%で最も高く、次いで「基本的な生活習慣を身につけること」が 60%、「他者を尊重し、思いやりを持つこと」が 55%となっています。

○小学生では、「ルールやマナーを守ること」が 65%で最も高く、次いで「他者を尊重し、思いやりを持つこと」が 56%、「基本的な生活習慣を身につけること」が 50%となっています。



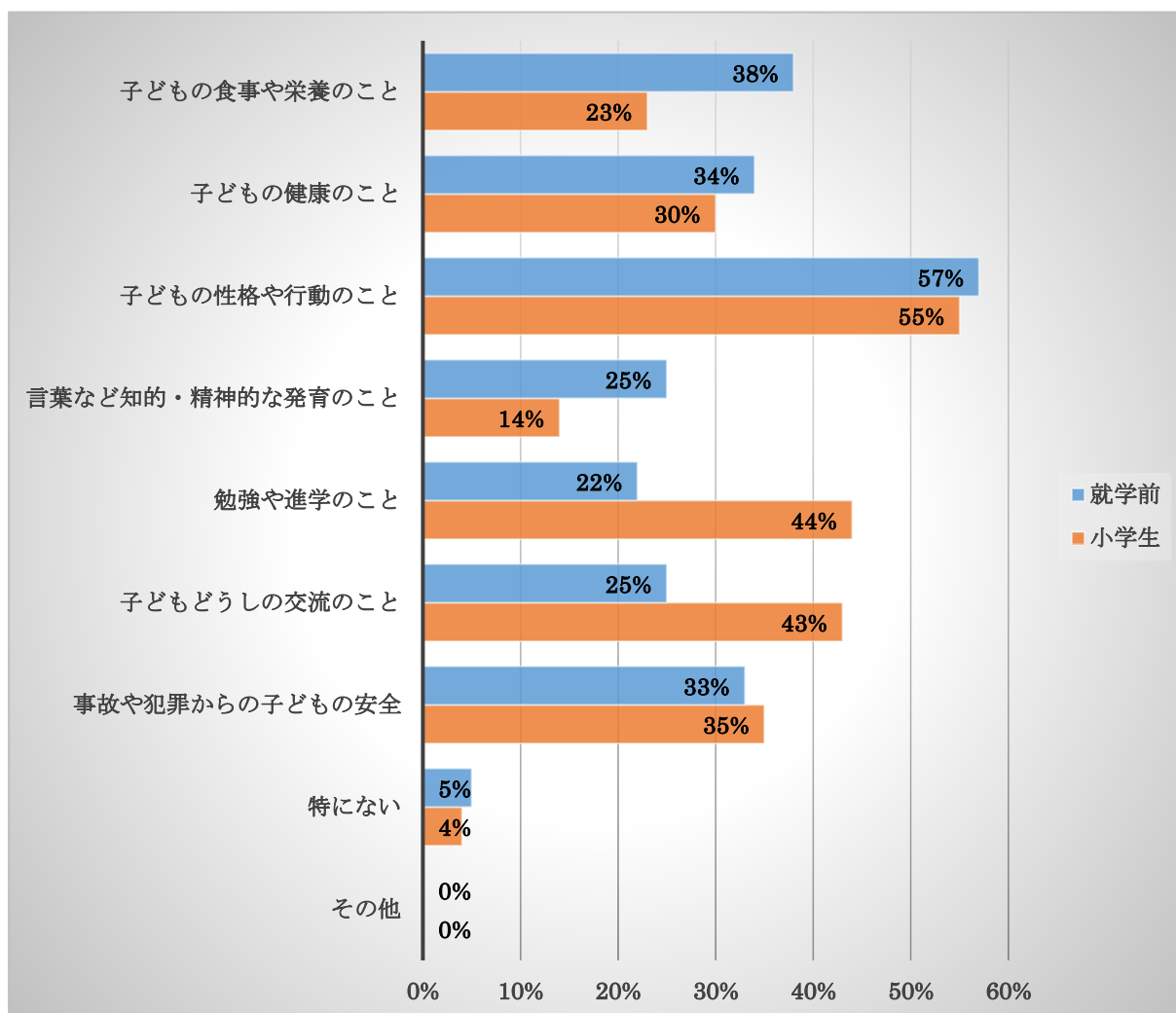
10-7 お子さんの子育てに関する不安や悩み

【就学前調査:問 47 小学生調査:問 31】

①子どものこと

○就学前では、「子どもの性格や行動のこと」が 57%で最も高く、次いで「子どもの食事や栄養のこと」が 38%、「子どもの健康のこと」が 34%となっています。

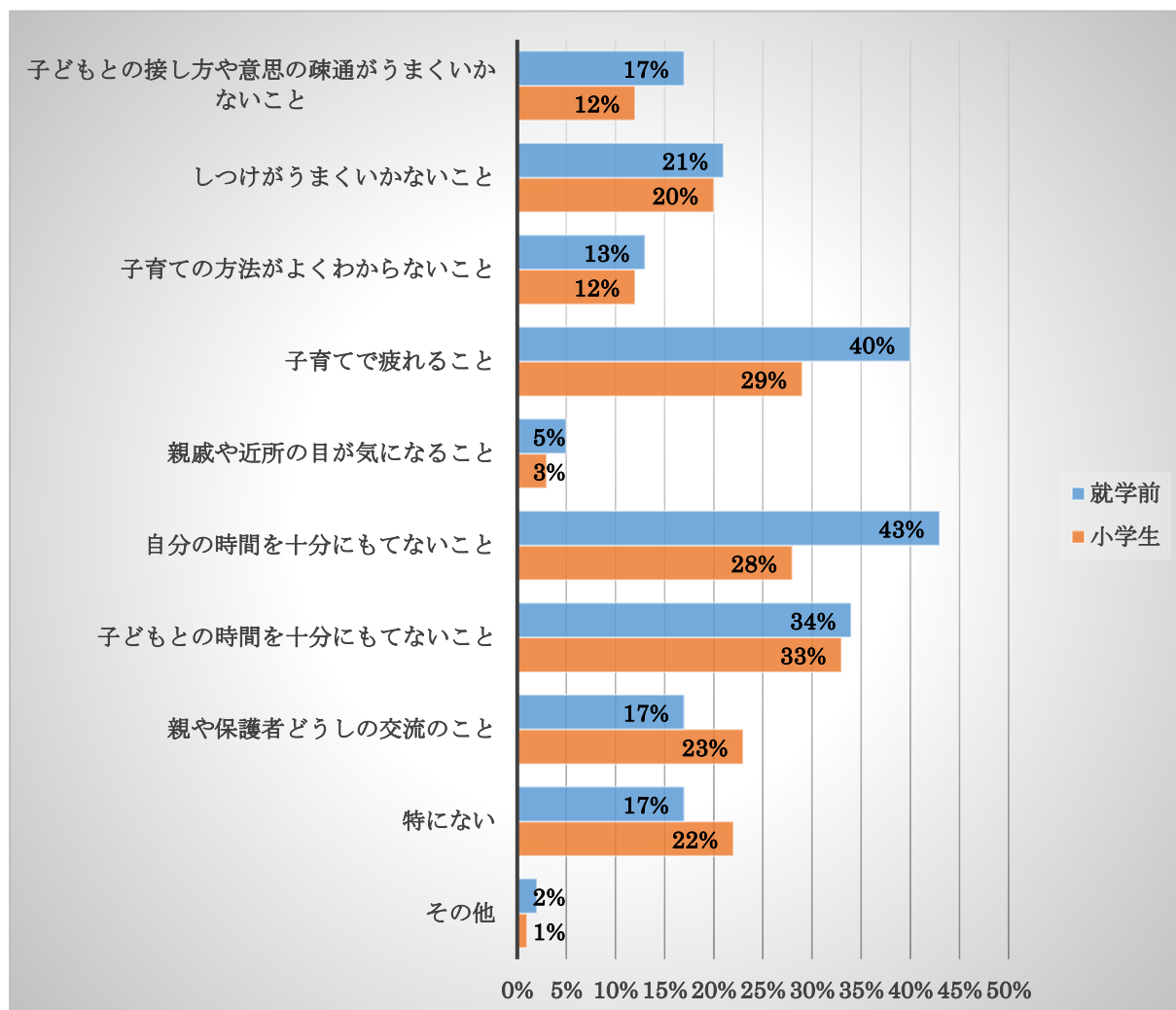
○小学生では、「子どもの性格や行動のこと」が 55%で最も高く、次いで「勉強や進学のこと」が 44%、「子どもどうしの交流のこと」が 43%となっています。



②自分のこと

○就学前では、「自分の時間を十分にもてないこと」が 43%で最も高く、次いで「子育てで疲れること」が 40%、「子どもとの時間を十分にもてないこと」が 34%となっています。

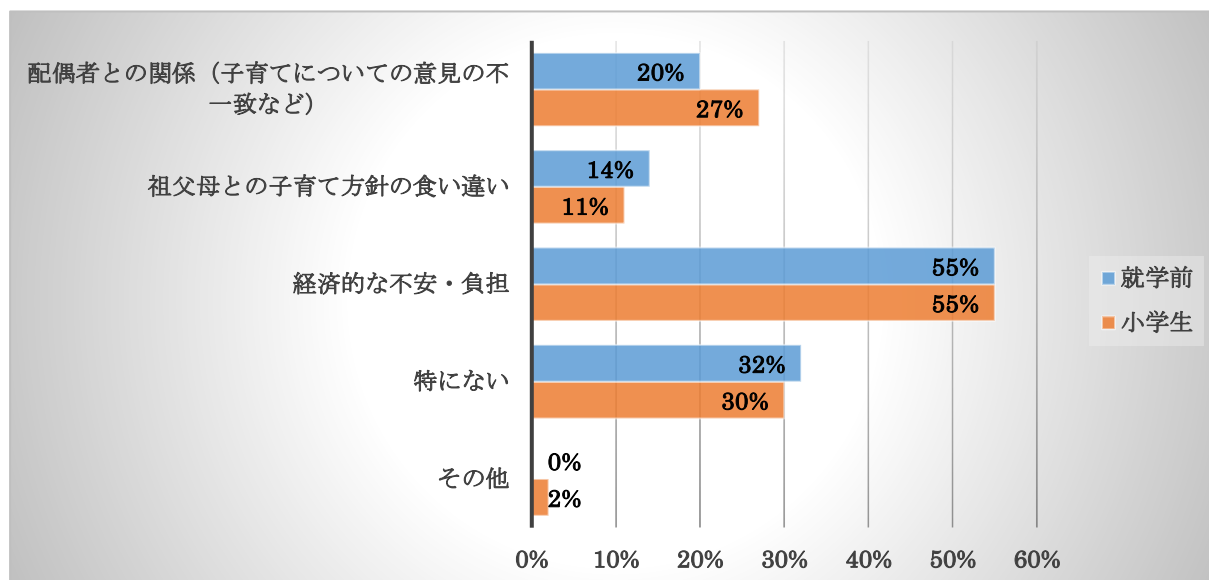
○小学生では、「子どもとの時間を十分にもてないこと」が 33%で最も高く、次いで「子育てで疲れること」が 29%、「自分の時間を十分にもてないこと」が 28%となっています。



③家庭のこと

○就学前では、「経済的な不安・負担」が 55%で最も高く、次いで「特にない」が 32%、「配偶者との関係（子育てについての意見の不一致など）」が 20%となっています。

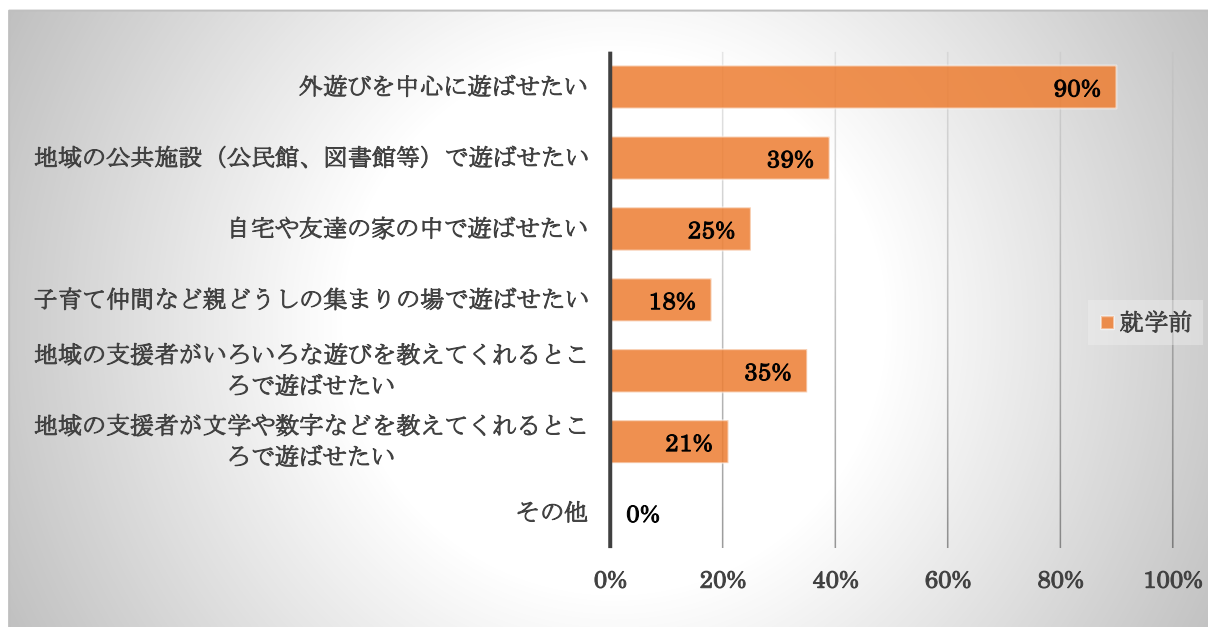
○小学生でも、「経済的な不安・負担」が 55%で最も高く、次いで「特にない」が 30%、「配偶者との関係（子育てについての意見の不一致など）」が 27%となっています。



10-8 地域の中でお子さんをどのような場所で遊ばせたいか

【就学前調査:問 48】

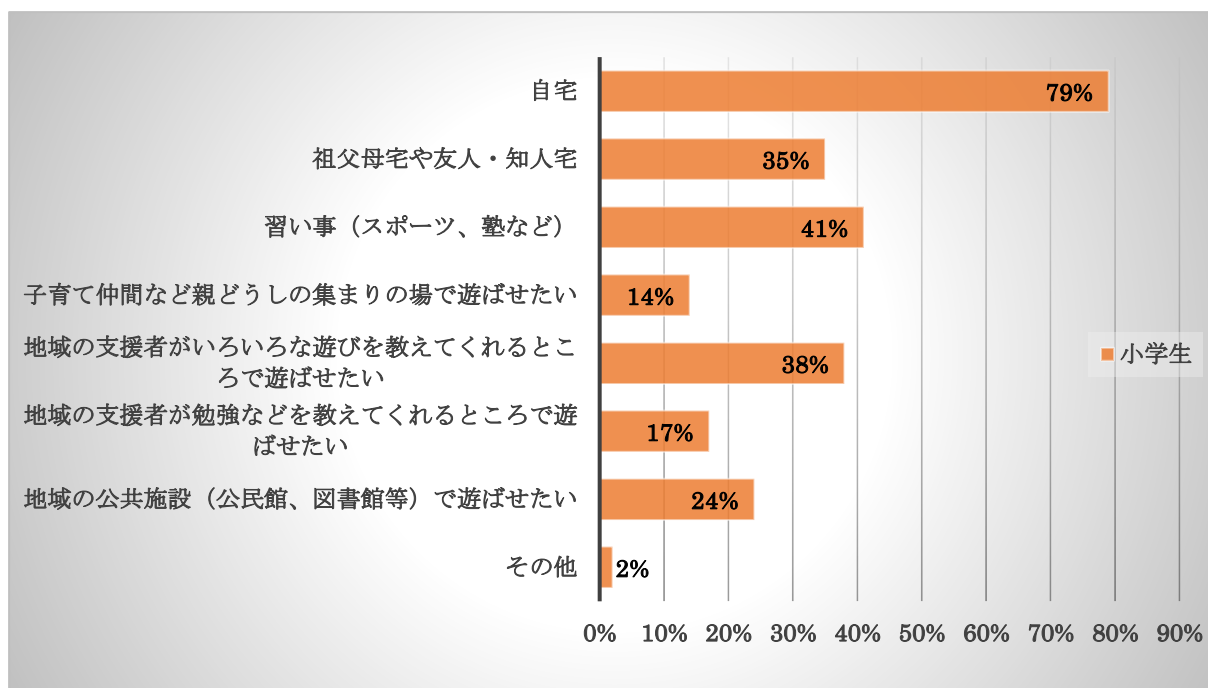
○「外遊びを中心に遊ばせたい」が 90%で最も高く、次いで「地域の公共施設(公民館、図書館等)で遊ばせたい」が 39%、「地域の支援者がいろいろな遊びを教えてくれるところで遊ばせたい」が 35%となっています。



10-9 土曜日、日曜日・祝日、長期の休みに、地域の中でお子さんをどのような場所で過ごさせたいか

【小学生調査:問 32】

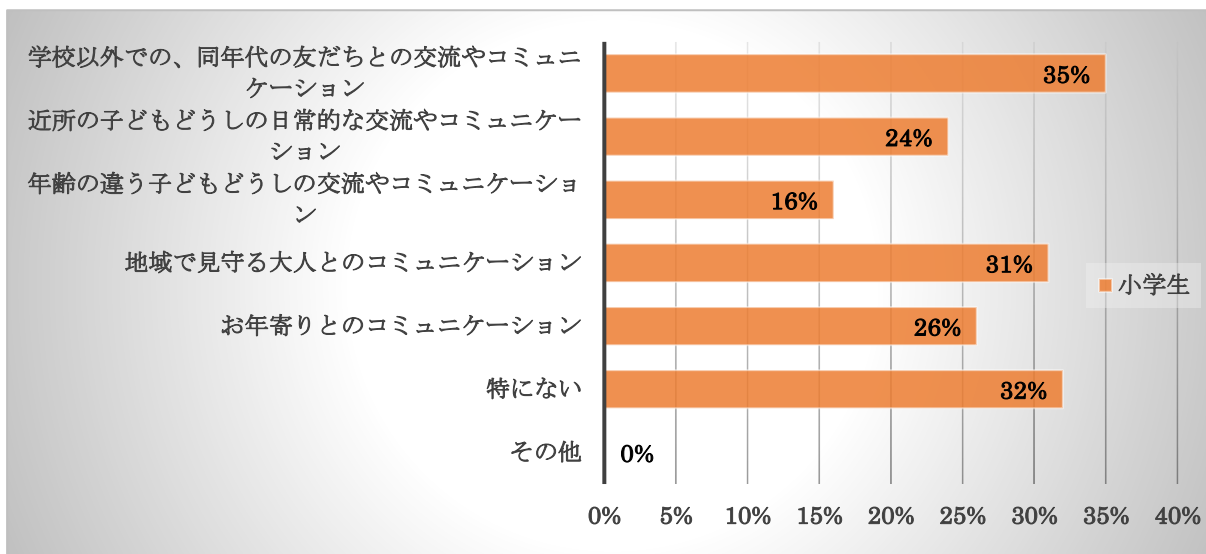
○小学生では、「自宅」が 79%で最も高く、次いで「習い事(スポーツ、塾など)」が 41%、「地域の支援者がいろいろな遊びを教えてくれるところで遊ばせたい」が 38%となっています。



10-10 日頃、お子さんの家族以外の人との関係で不足していると思うこと

【小学生調査:問 33】

○「学校以外での、同年代の友だちとの交流やコミュニケーション」が 35%で最も高く、次いで「特にない」が 32%、「地域で見守る大人とのコミュニケーション」が 31%となっています。

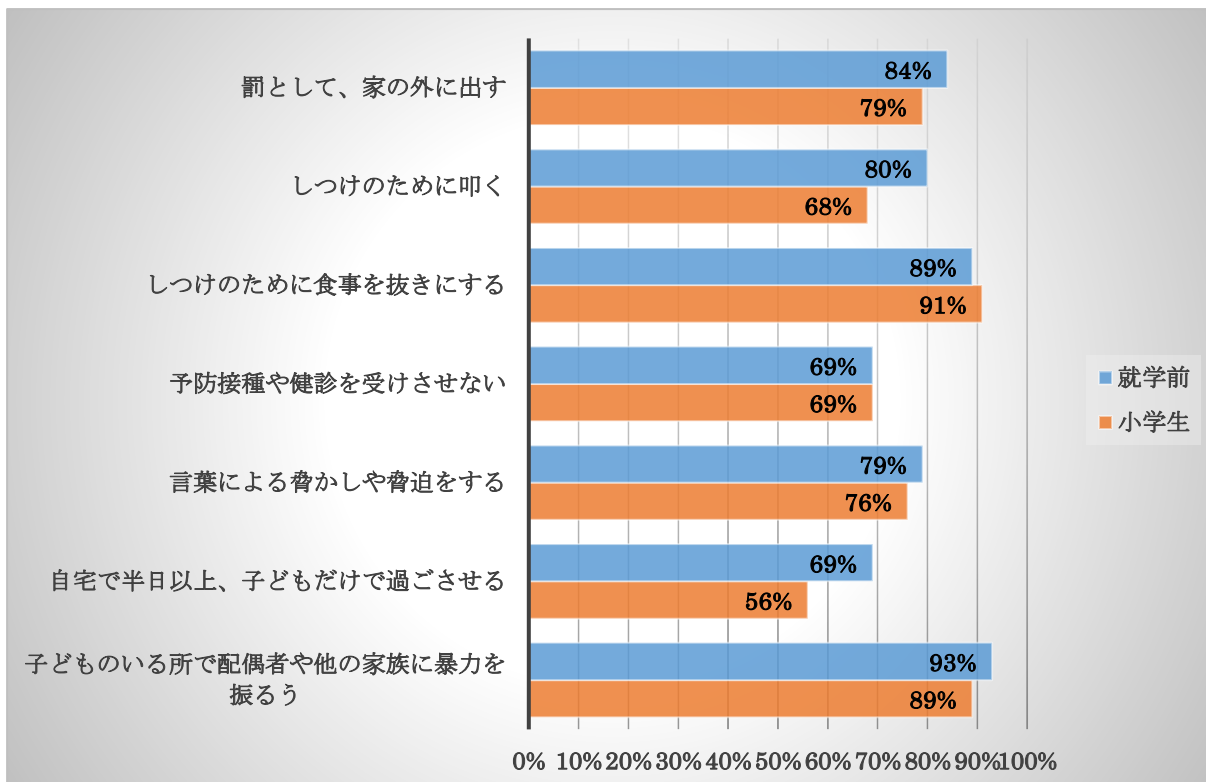


10-11 児童虐待だと感じること

【就学前調査:問 49 小学生調査:問 34】

○就学前では、「子どものいる所で配偶者や他の家族に暴力を振るう」が 93%で最も高く、次いで「しつけのために食事を抜きにする」が 89%、「罰として、家の外に出す」が 84%となっています。

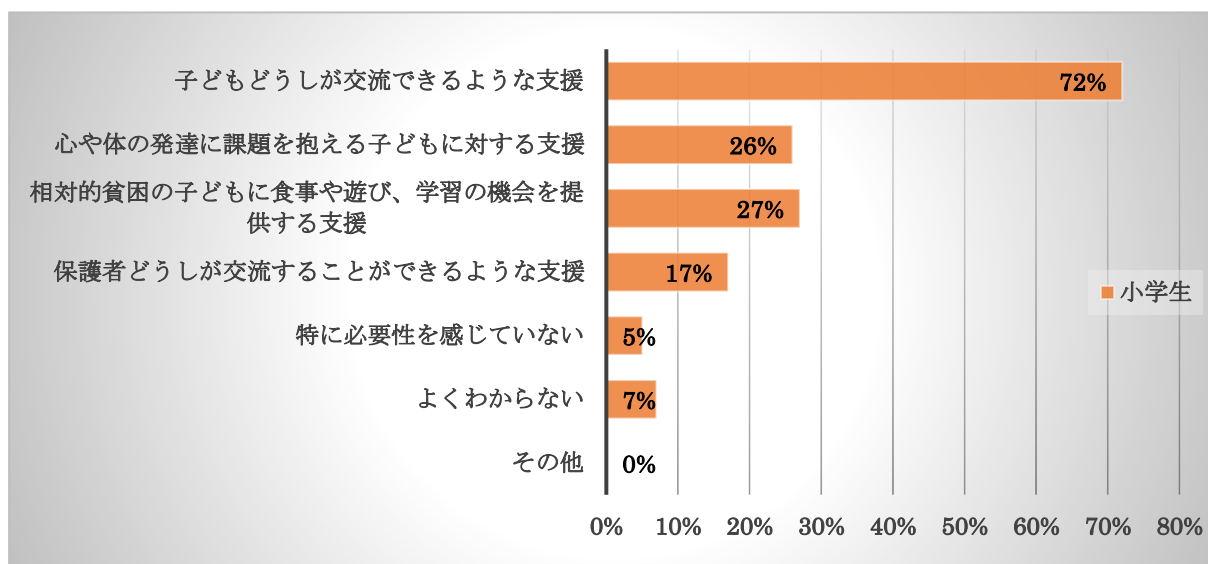
○小学生では、「しつけのために食事を抜きにする」が 91%で最も高く、次いで「子どものいる所で配偶者や他の家族に暴力を振るう」が 89%、「罰として、家の外に出す」が 79%となっています。



10-12 子どもの居場所づくりについて

【小学生調査:問 35】

○「子どもどうしが交流できるような支援」が 72%で最も高く、次いで「相対的貧困の子どもに食事や遊び、学習の機会を提供する支援」が 27%、「心や体の発達に課題を抱える子どもに対する支援」が 26%となっています。

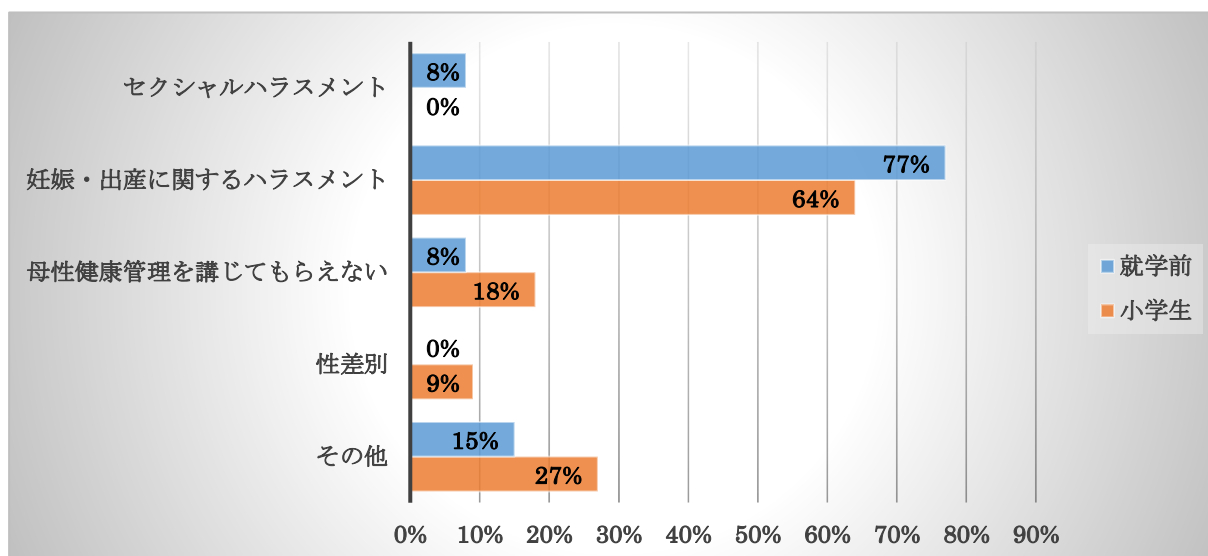
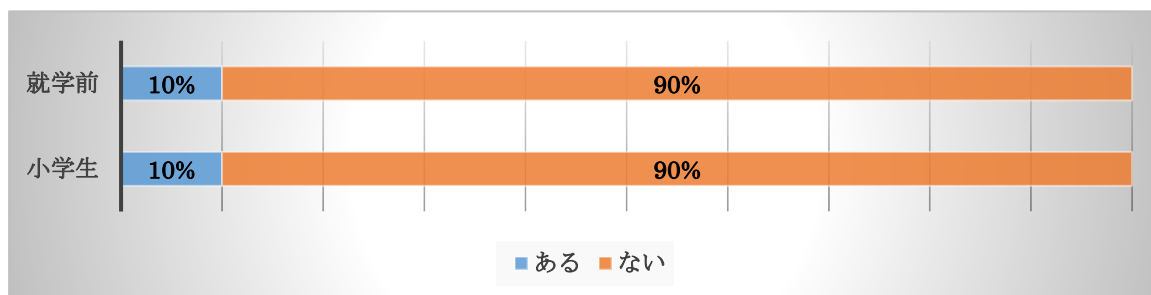


10-13 妊娠・出産を理由とした不利益な扱いについて

【就学前調査:問 50 小学生調査:問 36】

○妊娠・出産を理由とした不利益な扱いについて、就学前と小学生いずれも「ある」が 10%、「ない」が 90%となっています。

○内訳は就学前と小学生いずれも「妊娠・出産に関するハラスメント」が最も高くなっています。



11. これからの子ども・子育て支援全般について

11-1 三川町が子育てしやすいまちだと思うか

【就学前調査:問 51 小学生調査:問 37】

○就学前では、「思う」と「どちらかと言えば思う」を合わせた『子育てしやすいまちだと思う』が 86%で、「どちらかと言えば思わない」と「思わない」を合わせた『子育てしやすいまちだと思わない』の 9%を上回っています。

○小学生でも、「思う」と「どちらかと言えば思う」を合わせた『子育てしやすいまちだと思う』が 83%で、「どちらかと言えば思わない」と「思わない」を合わせた『子育てしやすいまちだと思わない』の 11%を上回っています。

